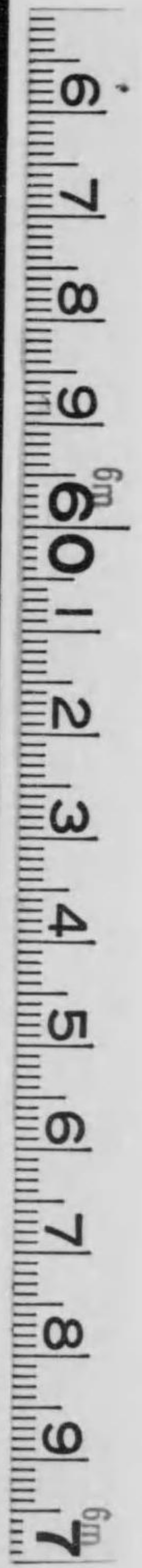


93
別庫
32



始



和歌山高等商業學校一覽

第三年度

(自大正十四年四月
至大正十五年三月)

和歌山高等商業學校一覽

第三年度 (自大正十四年四月至大正十五年三月)

目次

○學	曆	一
○沿	略	三
○規	程	九
○規	則	九
第一章	總則	一〇
第二章	學年、學期及休業日	一〇
第三章	學科課程	一〇
第四章	入學、退學及懲戒	一六
第五章	修業及卒業	一七
第六章	特待生	一七
第七章	授業料	一七



大正
14. 10. 14
寄贈

寄贈

頁
八二
一〇九

正誤表

第三學年
四月四日

第二學年
四月一日

第八章 研究生.....一九

附則.....一九

○細

則.....二五

第一 職員服務規程.....二五

第二 校務分掌規程.....二六

第三 教務課所管.....三五

一 職員會規程.....三六

二 評議員會規程.....三六

三 成績考查細則.....三七

第四 生徒課所管.....三八

一 生徒心得.....三八

二 生徒服裝規程.....四〇

三 組長、副組長規程.....四三

第五 寮務課所管.....四三

寄宿寮規程.....四四

第六 圖書課所管.....四七

一 圖書閱覽規程.....四七

二 圖書帶出規程.....四九

三 教科用其他校務用圖書帶出規程.....五一

四 校外者圖書閱覽規程.....五一

五 圖書講入規程.....五三

六 寄贈圖書取扱規程.....五四

七 寄贈雜誌新聞取扱規程.....五四

八 圖書寄託規程.....五五

九 圖書點檢規程.....五五

一〇 圖書出納規程.....五五

一一 圖書課報告規程.....五六

第七 商品課所管.....五六

商品陳列館公開規程.....五六

第八 庶務課所管.....五六

四

一 宿直規程	五六
二 文書取扱規程	五九
三 文書保存規程	六一
四 學校醫務服務規程	六二
第九 會計課所管	六三
物品會計細則	六三
第十 調查部所管	六六
○職 員	七〇
○生 徒	七九
○統 計 表	八九
第一 生徒募集人員	八九
第二 入學志願者及入學者數表	八九
第三 入學志願者及入學者ノ學歷別表	八九
第四 入學者ノ入學試驗合計得點表	九〇
第五 入學者ノ入學試驗學科目別得點表	九〇

第六 入學志願者及入學者ノ地方別員表	九一
第七 生徒出身學校別表	九三
第八 生徒年齡表	九七
第九 生徒身體檢查表	九八
第十 生徒家庭職業別表	一〇〇
第十一 圖書館備付書籍冊數	一〇一
第十二 圖書閱覽表	一〇二
第十三 建物及建築費	一〇二
○關係 規	一〇五
第一 專門學校令 (拔抄)	一〇五
第二 實業學校令 (拔抄)	一〇五
第三 文部省直轄諸學校官制 (拔抄)	一〇五
第四 文官任用令 (拔抄)	一〇七
第五 官吏服務紀律	一〇八
第六 官廳執務時間	一〇九

五

第七	文部省直轄諸學校職員定員令 (抜抄)	一一〇
第八	高等官等俸給令 (抜抄)	一一〇
第九	判任官俸給令 (抜抄)	一一一
第十	奏任文官及判任文官優遇ニ關スル件	一一二
第十一	教官及技術官ノ俸給ニ關スル件	一一三
第十二	文部省直轄諸學校長職務規程	一一三
第十三	帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校雇外國人ニ關スル件 (抜抄)	一一四
第十四	文部省直轄諸學校名譽教授ニ關スル件 (抜抄)	一一四
第十五	文部省直轄諸學校名譽教授ノ待遇 (抜抄)	一一四
第十六	專門學校入學者檢定規程第一號ノ指定 (抜抄)	一一四
第十七	專門學校入學檢定規程 (抜抄)	一一七
第十八	實業學校教員養成規程 (抜抄)	一一八
第十九	教員無試驗檢定ニ關スル指定 (抜抄)	一一九
第二十	公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程 (抜抄)	一一九
第二十一	文部省直轄實業專門學校委託生規程 (抜抄)	一二〇

第二十二	教員檢定ニ關スル規程 (抜抄)	一二〇
第二十三	公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定 (抜抄)	一二一
第二十四	文部省直轄諸學校外國人特別入學規程 (抜抄)	一二一
第二十五	外國人入學取扱方 (抜抄)	一二二
第二十六	校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無效 (抜抄)	一二三
第二十七	文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續 (抜抄)	一二三
第二十八	徵兵令 (抜抄)	一二三
第二十九	一年志願兵ニ關スル學校ノ認定及其入營延期ニ關スル件 (抜抄)	一二三
第三十	一年志願兵條例 (抜抄)	一二四
第三十一	一年志願兵條例施行細則 (抜抄)	一二四
第三十二	海軍高等武官任用令 (抜抄)	一二七
第三十三	東京商科大學學則 (抜抄)	一二八
第三十四	學生生徒兒童身體檢査規程 (抜抄)	一二八
第三十五	發育概評決定標準 (抜抄)	一三〇
第三十六	朝鮮教育令ニ依リ設置セル學校ノ生徒兒童並卒業者ノ他ノ學校へ	

入學轉學ニ關スル規程 (拔抄) 一三一

第三十七 臺灣教育令ニ依リ設置セル學校ノ生徒兒童並卒業者ノ他ノ學校へ
入學轉學ニ關スル規程 (拔抄) 一三一

第三十八 京都帝國大學通則 (拔抄) 一三一

第三十九 京都帝國大學經濟學部本科入學者志願者心得 (拔抄) 一三一

第四十 帝國大學經濟學部選科入學者志願者心得 (拔抄) 一三一

第四十一 京都帝國大學志願者注意事項 一三三

第四十二 東北帝國大學法文學部規程 (拔抄) 一三三

第四十三 九州帝國大學法文學部規程 (拔抄) 一三四

○附 錄

校友會規則 一三五

校舍平面圖 末尾

和歌山市略圖

○學 年 曆

同	大正十四年	四月三日	金	神武天皇祭
同		四月八日	水	第一回入學宣誓式
同		四月九日	木	第一學期授業始
同		七月十六日	木	夏季休業始
同		七月三十日	木	明治天皇祭
同		八月三十一日	月	天長節
同		九月十日	木	夏季休業終
同		九月二十三日	水	秋季皇靈祭
同		十月十七日	土	神嘗祭
同		十月二十日	火	第一學期授業終
同		十月二十一日	水	開校記念日



學 年 曆

學年曆

同	十月二十二日	木	第二學期授業始
同	十月三十一日	土	天長節祝日
同	十一月二十三日	月	新嘗祭
同	十二月二十五日	金	冬季休業始
大正十五年	一月一日	金	四方拜
同	一月三日	日	元始祭
同	一月五日	火	新年宴會
同	一月七日	木	冬季休業終
同	二月十一日	月	紀元節
同	三月春分	日	春季皇靈祭
同	三月三十一日	日	第二學期授業終

沿革略

大正八年

第四十一次帝國議會ニ於テ新設諸校ノ創設費トシテ協賛ヲ經タルモノノ中第十高等商業學校(本校)ニ屬スルモノハ大正八、九年、十、十一年度繼續費トシテ總額八拾參萬參千百圓ナリ

大正九年

九月一日本校所在地ニ文部省建築課出張所ヲ設ケ建築ニ着手ス

大正十一年

十月二十一日勅令第四百四十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ヲナシ大分高等商業學校ノ次ニ彦根高等商業學校和歌山高等商業學校ヲ加ヘラル

同日勅令第四百四十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員中ニ改正ヲ加ヘ本校職員ノ定員ヲ校長一人教授五人助教四人書記四人トナス

十二月九日京都帝國大學書記官岡本一郎本校長ニ任セラル

同月二十五日文部省告示第五百八十七號ヲ以テ和歌山高等商業學校ノ位置ヲ和歌山縣海草郡雜賀村トシ大正十二年四月ヨリ授業開始ノ旨ヲ公示セラル

同日文部省告示第五百八十八號ヲ以テ和歌山高等商業學校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ取扱フ旨公示

示セラル

大正十二年

二月九日本校規則制定ノ件許可セラル

同月十日文部省令第五號ヲ以テ本校規程ヲ公布セラル

三月九日文部省告示第四百九十九號ヲ以テ本校ノ事務ヲ三月十一日ヨリ和歌山縣海草郡雜賀村本校内ニ於テ取扱フ旨公布セラル

四月二十三日入學志願者中百六十五人ニ入學ヲ許可シ宣誓式ヲ行フ

五月八日勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中改正教授十人助教授四人トセラル

大正十三年

一月二十二日 天皇陛下皇后陛下ノ御眞影皇太子殿下ノ御寫眞ヲ下賜セラル

一月二十六日本校講堂ニ於テ 皇太子殿下ノ御成婚奉祝式ヲ舉ク（始メテ講堂ヲ開ク）運動場ノ西南隅ニ御成婚記念植樹ヲナシ記念碑ヲ建ツ

二月十一日本校創始職員生徒及關係者釀金シテ創立記念植樹ヲナシ記念碑ヲ建ツ

三月二十一日教育ニ關スル勅語謄本ヲ交付セラル

四月八日入學志願者中百六十九人ニ入學ヲ許可シ宣誓式ヲ行フ

五月十六日勅令第二百二十三號ヲ以テ本校職員定員中改正教授十六人助教授六人書記五人トセラル

十月三十日開校式ヲ舉グ岡田文部大臣ヲ初メ朝野ノ名士多數參列ス尙之ニ附帶シテ翌日學術講演會ヲ開ク

大正十四年

四月一日勅令第八十一號ヲ以テ助教授六人ヲ五人トセラル

同月八日入學志願者中百四十二人ニ入學ヲ許可シ宣誓式ヲ行フ

五月十日 天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年奉祝式ヲ舉行ス

六月三日勅令第二百十六號ヲ以テ教授十六人ヲ二十人ニ助教授五人ヲ七人ニ書記五人ヲ六人トセラル

○規程

文部省令第五號

和歌山高等商業學校ノ修業年限學科目及其ノ程度ニ關スル規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

大正十二年二月十日

文部大臣 鎌田 榮吉

和歌山高等商業學校規程

第一條 和歌山高等商業學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條 和歌山高等商業學校ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ

學科	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期每週教授時數	第二學期每週教授時數	第一學期每週教授時數	第二學期每週教授時數	第一學期每週教授時數	第二學期每週教授時數
修身	一	一	一	一	一	一
國語漢文及作文	二	二	一	一	一	一
英語	八	八	七	七	七	七
數學	四	二	二	二	七	七
理化學	四	二	二	二	四	二
經濟學及財政學	四	三	三	三	四	二

學科	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期每週教授時數	第二學期每週教授時數	第一學期每週教授時數	第二學期每週教授時數	第一學期每週教授時數	第二學期每週教授時數
法律學	四	三	四	四	二	三
商業學	(中) 四	(中) 三	三	五	四	四
簿記及會計學	(中) 三	(中) 三	三	三	二	三
商業地理	二	三	四	二	二	二
商業歷史						
商品學及工業大意			四	二	二	二
第二外國語	三	三	三	二	二	二
商業實踐						
商事研究						
社會學及社會問題				二	時間不定	時間不定
體操	二	二	二	二	二	二
計	三四	三四	三四	三四	三〇	三〇

備考

- 一 前表中(商)印ヲ付シタルハ商業學校出身者ノミニ(中)印ヲ付シタルハ商業學校出身者以外ノ者ノミニ之ヲ課ス
- 二 第二外國語ハ英語、支那語、露西亞語、獨逸語及佛蘭西語ノ中其ノ一ヲ選擇履修セシム
- 三 前表ノ外第三學年ニ於テハ每學期左記學科目ノ中二科目ヲ選擇履修セシム

哲學概論
論理學及心理學
微積分

規程

統計學
海外經濟事情
植民政策
原價計算
會計監査
破産法
工學
社會學
人種學
美術工藝史
外國語

(各國國民性風俗習慣等)

四 前二項ノ學科目ニ關シテハ學校ノ都合ニ依リ其ノ中一種若ハ數種ヲ省クコトアルヘシ

第三條 本校卒業者ニシテ更ニ既修ノ學科目ニ就キ研究セムトスル者ハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○規 則

第一章 總 則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ據リ商業上必要ナル高等ノ教育ヲ施スヲ以テ其ノ目的トス

第二條 本校ノ修業年限ハ三年トス

第二章 學年、學期及休業日

第三條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第四條 學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期 四月一日ニ始リ十月二十日ニ終ル

第二學期 十月二十一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 學年中休業日左ノ如シ

日 曜 日

大 祭 祝 日

開校記念日

春季休業

十月二十一日

自四月一日
至四月七日

規

規則

夏季休業 自七月十六日
至九月十日
冬季休業 自十二月二十五日
至一月十七日

第三章 學科課程

第六條 學科目及其ノ程度左ノ如シ

學科目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
修身	1	1	1	1	1	1
國語漢文及作文	2	2	2	2	2	2
英語	2	2	2	2	2	2
數學	2	2	2	2	2	2
理化學	2	2	2	2	2	2
經濟學及財政學	2	2	2	2	2	2
法律學	2	2	2	2	2	2
商業學	2	2	2	2	2	2
簿記及會計學	2	2	2	2	2	2
商業地理	2	2	2	2	2	2

學科目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
商業歷史	3	3	3	3	3	3
商品學及工業大意	3	3	3	3	3	3
第二外國語	3	3	3	3	3	3
商業實踐	3	3	3	3	3	3
商事研究	3	3	3	3	3	3
社會學及社會問題	3	3	3	3	3	3
體操	2	2	2	2	2	2
計	34	34	34	34	30	30

備考

- 一 前表中(商)印ヲ付シタルハ商業學校出身者ノミニ、(中)印ヲ付シタルハ商業學校出身者以外ノ者ノミニ之ヲ課ス
- 二 第二外國語ハ英語、支那語、露西亞語、獨逸語及佛蘭西語ノ中其一ヲ選擇履修セシム
- 三 前表ノ外第三學年ニ於テハ每學期左記學科目ノ中二科目ヲ選擇履修セシム

- 哲學 概論
- 論理學及心理學
- 微分積分
- 統計學
- 海外經濟事情
- 植民政策
- 原價計算
- 會計監査
- 破産法
- 工學

- 社會學
- 人種學 (各國國民性風俗習慣等)
- 美術工藝史
- 外國語
- 四 前二項ノ學科目ニ關シテハ學校ノ都合ニ依リ其ノ中一種若ハ數種ヲ省クコトアルヘシ

第四章 入學、在學、退學及懲戒

第七條 入學ハ學年ノ始メ一箇月以内トス

第八條 第一學年ニ入學セシムヘキ者ハ左記各號ノ一ニ該當スル者ノ中ヨリ選抜シテ之ヲ定ム

- 一 中學校卒業者
 - 二 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ノ合格者
 - 三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者
- 第九條 入學者ノ選抜ハ試驗檢定又ハ無試驗檢定ニ依リ左記各號ヲ考査シテ之ヲ行フ
- 一 選抜試驗ノ成績
 - 二 體格
 - 三 學業成績及履歷

第十條 第八條第一號及第三號ノ學校ヲ其ノ年三月マテニ卒業スヘキ見込ノ者ハ當該學校ノ卒業者ニ準

ス但本校入學者決定ノ時期ニ於テ仍卒業セサル者ハ志願ノ効力ヲ失フ

第十一條 選抜試驗ハ中學校又ハ商業學校卒業ノ程度ニ於テ之ヲ行ヒ試驗科目ハ生徒募集ノ際之ヲ公示

ス

第十二條 第八條第一號及第三號ノ學校ヲ卒業シタル入學志願者ニシテ其ノ在學中最後ノ三學年間引續キ其ノ學年ノ及第者全數ノ五分ノ一以上ノ席次ニ在リ卒業試驗ニ於テハ當該學年卒業者全數ノ十分ノ一以上ノ席次ニ在ル者ニ限リ無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 本文ニ該當スル者ニシテ最後ノ三學年中前二學年ノ成績前項ノ規定ニ該當スルトキハ無試驗檢定ヲ出願スルコトヲ得但卒業期ニ於テ前項規定ノ成績ヲ得サリシトキハ無試驗檢定ノ出願ハ其ノ効力ヲ失フ

第十三條 無試驗檢定出願者ニシテ其ノ檢定ニ合格セサル場合試驗檢定ヲ受ケント欲スル者ハ入學願書ニ其ノ旨ヲ明記スヘシ

第十四條 入學志願者ハ左記ノ書類ニ檢定料及寫眞(最近六ヶ月内ノ撮影、脱帽、半身手札形)ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

- 一 入學願書 (第一號書式)
- 二 戶籍抄本

三 身驗検査書 (第二號書式)

四 成績證明書 (第三號書式)

第十五條 檢定料ハ金五圓トシ納付後ハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セス第十三條ノ入學志願者ニシテ試験檢定ヲ受クルモ試験檢定ノ檢定料ハ之ヲ免除ス

第十六條 本校退學者退學後一年以内ニ再入學ヲ出願スルトキハ學年ノ始ニ限り原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十七條 入學ヲ許可セラレタル者ハ許可ノ日ヨリ廿日以内ニ誓書(第四號書式)ヲ學校長ニ差出スヘシ

第十八條 保證人ハ成年以上ノ男子ニシテ和歌山市若ハ其ノ附近ニ住所ヲ有シ生徒在學中ニ係ル一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スヘキモノタルヲ要ス

第十九條 保證人改姓、改名、轉籍、轉居若ハ改印ヲ爲シタルトキハ其ノ旨直ニ本校ニ届出ツヘシ

第二十條 保證人死亡シ若ハ第十八條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校長ヨリ不適當ト認メラレタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ直ニ本校ニ届出ツヘシ

第二十一條 生徒、改姓、改名、轉籍、轉居若ハ改印等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨直ニ本校ニ届出ツヘシ但改姓、改名、轉籍ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添付スルヲ要ス

第二十二條 生徒ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ但新ニ入學シタル生徒ハ入學ノ日ヨリ一箇月以内

之ヲ猶豫ス

第二十三條 生徒病氣其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ引續キ三箇月以上修學ヲ中止セントスルトキハ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得但病氣ノ爲メ休學セントスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

休學ハ兵役ニ服スル場合ノ外一學年以上ニ互ルコトヲ得ス但特別ノ事情アル者ニハ學校長ハ本人ノ願出ニ依リ更ニ一學年以内ノ休學ヲ許可スルコトアルヘシ

休學期間内ニ於テ其ノ事故止ミ復學セントスルトキハ學校長ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第二十四條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ學校ノ入學試験ヲ受クルコトヲ得ス

第二十五條 生徒已ムヲ得サル事由ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上學校長ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第二十六條 左記各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學業劣等若ハ身體虛弱ニシテ本校生徒トシテ修學ヲ繼續スルニ適セスト認メタル者
- 三 休學ノ許可ヲ得スシテ引續キ一箇年以上缺席シタル者

- 四 正當ノ理由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
- 五 正當ノ理由ナクシテ屢々遅刻缺席シ出席常ナラサル者
- 六 授業料寄宿料滞納二週間以上ニ亘ル者
- 七 第二十四條ノ手續ヲ經スシテ他ノ學校ニ入學シ若ハ他ノ學校ノ入學試験ヲ受ケタル者
- 第二十七條 生徒ニシテ校紀風紀ヲ紊亂シ又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ他生徒ノ本分ニ背戾シタリト認めタル者アルトキハ學校長ハ之ヲ懲戒ス懲戒ハ分ツテ戒飭謹慎及放校ノ三トス
謹慎ニハ停學ヲ附加スルコトアルヘシ
- 第二十八條 戒飭ハ訓戒ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ謹慎ハ一定期間特別ノ監督ノ下ニ反省セシメ放校ハ學校ヨリ放逐ス

第五章 修學及卒業

- 第二十九條 各學年ニ於ケル課程修了ハ學業成績及勤惰ヲ考查シテ之ヲ定ム
- 第三十條 未修了ノ學科目多クシテ次學年ノ課程ヲ履修スルニ不適當ト認めタル者ハ原學年ノ課程ヲ再修セシム
- 第三十一條 未修了ノ學科目ニ就テハ在學中又ハ第三學年次ノ考查修了後滿二年以内ニ再考查ヲ受ケルコトヲ得

- 第三十二條 全部ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書(第五號書式)ヲ授與ス
- 第三十三條 各學年ノ課程ヲ履修セルモ前條ニ該當セサル者ニハ修業證書ヲ授與ス
- 第三十四條 修業證書ヲ授與セラレタル者ニシテ第三十一條ノ再考查ヲ受ケ合格シタルトキハ卒業證書ヲ授與ス

第六章 特待生

- 第三十五條 生徒中人物學力共ニ優秀ナリト認めヘキ者ヲ選ヒテ特待生ト爲スコトアルヘシ
特待生ハ前學年間ノ成績ニ依リ每學年學校長之ヲ定ム
- 第三十六條 特待生ニシテ其ノ體面ヲ損スル所爲アリト認めタルトキハ直ニ之ヲ罷ム

第七章 授業料

- 第三十七條 授業料ハ一學年金六拾五圓トシ左ノ三期ニ分チ每期授業開始ノ日ヨリ七日以内ニ納付スヘシ
 - 第一期 金貳拾圓 (自四月至七月)
 - 第二期 金貳拾五圓 (自九月至十二月)
 - 第三期 金貳拾圓 (自一月至三月)
- 研究生ハ授業料ヲ免除ス

第三十八條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ授業料ヲ免除ス但免除ノ事由カ授業開始後ニ於テ發生シタル時ハ其ノ月分ノ授業料ハ之レヲ徴收シ又免除ノ事由止ミタル時ハ其ノ月ヨリ授業料ヲ徴收ス

一 特待生

二 兵役服務ニ基因シ課業ニ就クコト能ハサル者

三 休學ノ許可ヲ受ケタル者

第三十九條 實業學校教員養成規程ニ據リ授業料ノ免除又ハ學資補給ヲ出願シタル生徒ニ對シテハ免除又ハ補給決定ニ至ルマテ授業料ノ徴收ヲ猶豫シ免除又ハ補給ヲ受ケルニ至リタル生徒ヨリハ之レヲ徴收セス

第四十條 各期ノ途中ニ於テ授業料納付ノ義務生シタル者ハ其ノ期ノ授業料ハ月割ヲ以テ納付スヘシ

前項ノ場合ニ於ケル授業料ハ月額金六圓五拾錢トス

第四十一條 授業料納付ノ後ハ如何ナル理由アルモ之レヲ還付セス

第四十二條 授業料納付期限ニ之レヲ納付セサルトキハ本人ニ催告シ猶納付ヲ怠ルトキハ保證人ニ催告ス

前項ノ催告ヲ受ケ猶納付セサルトキハ第二十六條第六號ニ依リ處分スルコトアルヘシ

第四十三條 大正十三年度以前ニ入學シタル者ノ授業料ハ従前ノ規則ニ定メタル納額ニ據ル

第八章 研究生

第四十四條 本校卒業生ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究ヲ爲サントスル者ニハ願出ニ依リ二年以内

研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十五條 研究生ハ在學期ノ終ニ於テ研究學科ニ關スル報告書ヲ作り指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ提出スヘシ

第四十六條 研究報告書ノ成績相當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第四十七條 研究生ニハ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外總テ本校諸規程ヲ準用ス

附則

本則ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

本則ハ大正十二年三月九日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

出身名	生年月日	氏名	受験番號
縣府			
			正ノ類 檢種
學校			

履 歴	

細則

右者 年 月本校第 學年ニ入學シ 年 月本校ヲ卒業シタル(スヘキ見込ノ)者ニシテ本校在學中ノ成績左ノ通ニ相違無之候也

三三

大正 年 月 日 何學校長 何 某 印

和歌山高等商業學校長 宛

成績表

學年	學科目	身修		國語	英語	算數	歴史	地理	何々	何々	平均	操行	席次
		漢文	及	漢文	語	學	史	理	々	々			
第三學年													何人中番
第四學年													何人中番
第五學年													何人中番
備考													何人中番

第四號書式

在學誓書

私儀今般御校ニ入學御許可相成候ニ就テハ在學中校規命令等堅ク可相守ハ勿論御校ノ學籍ヲ

脱シ候後ト雖在學中ニ係ル一切ノ義務ハ必ス履行可致此段誓約候也

大正 年 月 日

明治 年 月 日生

本族
現住所

右 今般御校ニ入學許可相成候ニ就テハ御校在學中監督保護ノ責ニ任スヘキハ勿論御校ノ學籍ヲ脱シ候後ト雖本人在學中ニ係ル一切ノ義務ハ必ス履行可爲致萬一違背候節ハ拙者ニ於テ一切引受可申此段保証候也

大正 年 月 日

年 月 日生

本族
現住所
本人トノ關係
保証人

和歌山高等商業學校長 殿

第五號書式

卒業證書

規則

1111

規則

族籍

二四

校印

何

某

右者本校所定ノ課程ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

大正何年何月何日

和歌山高等商業學校長位勳功學位爵

何

某

印

○細則

第一 職員服務規程

第一條 他ノ職務ニ從事セントスル場合ハ豫メ校長ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 新任者ハ三日以内ニ履歷書及宿所届ヲ差出スヘシ

第三條 判任官以下ノ者出勤シタルトキハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ但特ニ捺印ヲ要セストナスモノハ此ノ限ニアラス

第四條 父母ノ祭日ニ際シ賜暇ヲ受ケントスルトキハ前日迄ニ其ノ旨届出テ其ノ他ノ場合ノ賜暇ハ事由ヲ具シ校長ニ願出ツヘシ

第五條 服忌ノ場合ハ死者トノ續柄ヲ記シ忌引届ヲ差出スヘシ

第六條 病氣其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤若ハ遅刻スルトキハ登校時限前ニ早退ノトキハ豫メ其ノ事由ヲ具シ届出ツヘシ

病氣缺勤七日以上ニ涉ルトキハ届書ニ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第七條 居住地ヲ離レントスルトキハ校長ノ許可ヲ受クヘシ但休暇中ハ旅行日數及場所ヲ詳記シ出發前ニ届出ツヘシ

第八條 出張ヲ命セラレタルトキハ出發歸任共ニ届出ヲ爲シ其ノ復命書ハ十日以内ニ差出スヘシ但簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ爲スコトヲ得

第九條 改名轉居ヲ爲シタルトキ又ハ他ノ官廳等ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ

第十條 公文書類ハ校長ノ許可ナクシテ猥リニ之ヲ關係者外ニ示シ又ハ謄寫セシムヘカラス
第十一條 學校長名若ハ學校名ヲ以テスル文書ハ校長ニ稟議シ決裁ヲ受ケタル後ニアラサレハ發スルコトヲ得ス但豫メ學校長ノ承認ヲ得タルモノハ此ノ限リニアラス

第十二條 火ノ元取締ハ最嚴重ニ注意スヘシ退出ニ際シ別段ノ注意ヲ要スヘキ事項アルトキハ特ニ宿直員ニ通知シ相當ノ取締ヲ求ムヘシ

第十三條 本章ノ規定ニヨリ校長ニ差出スヘキ文書ハ庶務課ヲ經由スヘシ但教員ノ缺勤遲刻父母ノ祭典忌引及出張ニツキ出發歸任ノ届出ハ教務課及庶務課ヲ經由スヘシ

第二 校務分掌規程

第一條 校務ヲ分掌スルタメ左ノ七課及一部ヲ置ク

- 教務課 生徒課 寮務課 圖書課
- 商品課 庶務課 會計課 調査部

第二條 各課ニ課長及係員ヲ置ク但必要ニ應ジテ主任ヲ置クコトアルヘシ

第三條 各課長主任及係員ハ學校長之ヲ命ス

第四條 各課長ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ當該課ノ所管事務ヲ掌理シ主任ハ當該課長ヲ補佐ス

第五條 各課ノ係員ハ當該課長及主任ノ指揮ヲ受ケ各其ノ事務ヲ處理ス

第六條 教務課ノ所管事務左ノ如シ

- 一 教務ニ係ル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
- 一 教務ニ係ル校長ノ命令傳達ニ關スル事項
- 一 學科課程及教科細目ニ關スル事項
- 一 教官ノ分担及日課ノ配當ニ關スル事項
- 一 教授時間ノ配當ニ關スル事項
- 一 學級編制ニ關スル事項
- 一 教科用書及參考用書ニ關スル事項
- 一 教室ノ配當、教具ノ設備及配置ニ關スル事項
- 一 教官ノ缺勤受附ニ關スル事項
- 一 職員會及評議委員會ニ關スル事項

- 一 入學試驗成績考查及成績表ニ關スル事項
- 一 生徒ノ修學旅行等ニ關スル事項
- 一 參觀人取扱ニ關スル事項
- 一 實業學校教員養成ニ關スル專項
- 一 授業及休業ニ關スル事項
- 一 生徒ノ募集及入學ニ關スル事項
- 一 其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第七條 生徒課ノ所管事務左ノ如シ

- 一 生徒ノ監督ニ係ル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
- 一 生徒ノ監督ニ係ル校長ノ命令傳達ニ關スル事項
- 一 入學式及宣誓式ニ關スル事項
- 一 生徒ノ訓育及風紀取締ニ關スル事項
- 一 生徒ノ衛生及体格検査ニ關スル事項
- 一 生徒ノ願、伺、届等ニ關スル事項
- 一 退學、休學ニ關スル事項

- 一 生徒ノ學籍及兵役ニ關スル事項
- 一 生徒ノ証明書等ニ關スル事項
- 一 生徒ノ出席調査ニ關スル事項
- 一 生徒ノ勤惰ニ關スル事項
- 一 生徒ノ獎勵、訓誨及懲戒ニ關スル事項
- 一 特待生ニ關スル事項
- 一 生徒ノ集會及文書類ニ關スル事項
- 一 生徒ノ團體旅行取締ニ關スル事項
- 一 組長及副組長ニ關スル事項
- 一 生徒ノ制服ニ關スル事項
- 一 生徒ノ宿所ニ關スル事項
- 一 生徒ノ揭示取締ニ關スル事項
- 一 生徒集會場ニ關スル事項
- 一 其ノ他生徒ニ關スル校務ニシテ他ノ課ニ屬セサル事項

第八條 寮務課ノ所管事務左ノ如シ

- 一 寮務ニ係ル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
- 一 生徒ノ入寮、在寮生徒ノ退寮、外泊、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
- 一 在寮生徒ノ風紀及衛生ニ關スル事項
- 一 在寮生徒ノ訓育及取締ニ關スル事項
- 一 在寮生徒ノ懲戒ニ關スル事項
- 一 在寮生徒ノ集會及文書類ニ關スル事項
- 一 寄宿寮ニ屬スル傭人及賄方取締ニ關スル事項
- 一 其ノ他寄宿寮及在寮生徒ニ關スル事項

第九條 圖書課ノ所管事務左ノ如シ

- 一 圖書ニ係ル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
- 一 圖書ノ購入、保管、出納及整理ニ關スル事項
- 一 圖書ニ係ル帳簿ニ關スル事項
- 一 圖書ノ目錄、編纂及整理ニ關スル事項
- 一 新聞、雜誌、年報、一覽表ノ保管及出納ニ關スル事項
- 一 圖書貸附ニ關スル事項

一 寄贈圖書ニ關スル事項

- 一 其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十條 商品課ノ所管事務左ノ如シ

- 一 理化工學用器具、機械、標本、模型、藥品及商品標本ニ係ル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項

- 一 所管物品ノ保管、出納及整理ニ關スル事項

- 一 所管物品ニ係ル帳簿ニ關スル事項

- 一 所管物品ノ縦覽ニ關スル事項

- 一 其ノ他所管物品ニ關スル一切ノ事項

第十一條 庶務課ノ所管事務左ノ如シ

- 一 庶務ニ係ル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
- 一 御眞影及勅語ニ關スル事項
- 一 校長ノ官印及校印ノ保管ニ關スル事項
- 一 文書ノ往復ニ關スル事項
- 一 記録ノ編纂及保管ニ關スル事項

- 一 本校諸規則及庶務ニ係ル校長ノ命令傳達ニ關スル事項
- 一 一覽、年報、官報、報告及統計報告ニ關スル事項
- 一 公文書處理ニ關スル事項
- 一 儀式ニ關スル事項
- 一 諸規則ノ制定改廢ニ關スル事項
- 一 宿直ニ關スル事項
- 一 寄附受理ニ關スル事項
- 一 職員ノ進退、身分及服務ニ關スル事項
- 一 職員出勤簿ニ關スル事項
- 一 備外國人ニ關スル事項
- 一 卒業生ニ關スル事項
- 一 一般外來者ノ應接ニ關スル事項
- 一 學校日誌及諸記錄ニ關スル事項
- 一 各課成案文書ノ回議及審査ニ關スル事項
- 一 其ノ他、他課ノ所管ニ屬セサル一切ノ事項

第十二條 會計課ノ所管事務左ノ如シ

- 一 會計ニ係ル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
- 一 收支ノ豫算、決算及管理ニ關スル事項
- 一 歳入ノ確定、收入及證明ニ關スル事項
- 一 經費ノ出納及證明ニ關スル事項
- 一 會計諸帳簿ニ關スル事項
- 一 物品ノ調製、保管、棄却、賣買及貸借ニ關スル事項
- 一 在庫品ノ保管、出納及整理ニ關スル事項
- 一 建物ノ建築、修繕及保管ニ關スル事項
- 一 土地ノ修繕及保管ニ關スル事項
- 一 傭人人夫ノ雇傭及其ノ監督ニ關スル事項
- 一 警備並災害ノ防止及消毒ニ關スル事項
- 一 電話、電燈、給水、瓦斯及暖房ニ關スル事項
- 一 門鑑ニ關スル事項
- 一 物品ノ運搬並收受ニ關スル事項

一 其ノ他會計ニ屬スル一切ノ事項

第十三條 調査部所管事務左ノ如シ

一 研究資料ノ蒐集分類整理及保存ニ關スル事項

一 著書論文ノ目錄調製ニ關スル事項

一 講習會講演會ノ計畫實施ニ關スル事項

一 公刊物ノ發行ニ關スル事項

一 調査部委員會ノ開催及議事ニ關スル事項

一 調査ニ係ル文書ノ起案及保管ニ關スル事項

一 調査室ノ設備及利用ニ關スル事項

一 所管物品ノ保管出納及整理ニ關スル事項

一 其他調査部ニ關スル一切ノ事項

第十四條 各課所管事務ニシテ他課ニ關係ヲ有スル時ハ關係各課ノ合議ヲ經テ學校長ノ指揮ヲ請フモノ

トス

第十五條 事務ノ所屬不明ナル時ハ學校長ノ指揮ニ從フモノトス

第十六條 各課ニ於テ校舍内外ノ整頓取締ヲ分擔スルコト左ノ如シ

教務課

教室 教官室 教務課室 教官研究室 教務用具室 會議室

生徒課

生徒控所 運動場 武道場 生徒監室 生徒課室 生徒集會場

寮務課

寄宿寮 寮務課室

圖書課

書庫 閱覽室 圖書課室

商品課

商品標本陳列室 理化工學機械室 同藥品室 同準備室 同研究室 商品課室 瓦斯發生機室

庶務課

御眞影室 校長室 庶務課室 應接室 講堂 門衛室 宿直室 職員食堂 小使室

會計課

會計課室 給水室 倉庫其ノ他各課ノ分擔セサル諸室及庭園

第三 教務課所管

一 職員會規程

第一條 職員會ハ教授、助教授及專任講師ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 職員會ハ左ノ事項ニ就キ校長ノ諮詢ニ應シ審議スルモノトス

一 學科課程ニ關スル事項

一 試驗ニ關スル事項

一 生徒ノ賞罰ニ關スル事項

一 其ノ他校長ニ於テ必要ト認メタル事項

第三條 本會ハ校長之ヲ開ク

二 評議員會規程

第一條 本校ニ評議員若干名ヲ置ク

第二條 評議員ハ教授、助教授、專任講師ノ互選シタルモノニ就キ校長之ヲ命ス

第三條 評議員ノ任期ハ一學年間トス

第四條 評議員會ハ校務一般ニ就キ校長ノ諮詢ニ應シ審議スルモノトス

第五條 校長ハ必要ト認ムル場合ニアリテハ臨時他ノ職員ニ列席セシムルコトアルヘシ

第六條 本會ハ校長之ヲ開ク

三 成績考查細則

第一條 學業成績ハ總テ評點ヲ以テ之ヲ表示シ各學科目壹百ヲ以テ最高點トス

第二條 學科目ノ名稱ハ本校規則第六條ノ定ムル所ニ據ル

第三條 學期試驗ハ各學期末ニ於テ之ヲ行フ但學校ノ都合ニ依リ臨時ニ施行スルコトアルヘシ

第四條 學業成績ヲ分テテ學期、學年、卒業ノ三トス

學期評點ハ當該學期ノ各學科目點ノ平均ヲ以テ之ヲ定ム但當該學期ニ未修了ノ學科目アルトキハ該學

科目ノ評點ヲ俟ツテ之ヲ定ム

學年評點ハ各學科目ノ學年評點ノ平均ヲ以テ之ヲ定ム各學科目ノ學年評點ハ各學期ノ平均ヲ以テ之ヲ

定ム

卒業評點ハ學年評點ノ平均ヲ以テ定ム

第五條 各學科目ノ學期評點ハ受持教員其ノ學期ニ於ケル平常成績及學期試驗ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定

ム

第六條 平常成績ニ依リ評點ヲ定メ得ヘキ學科目ニ就テハ學期試驗ヲ省略スルコトアルヘシ

第七條 學科目ノ學年評點六十以上ナルトキハ其ノ學科目ニ對シテハ當該學年ノ課程ヲ修了シタルモノ

トス

評點六十未滿ナルトキハ未修了トス

未修了學科目カ一ノ學年ニ於テ四以上アルトキハ原學年ノ課程ヲ再修セシム

第八條 未修了學科目ニ就テハ在學中及第三學年修了期ノ終リヨリ起算シ滿二ケ年以内ニ再試験ヲ行フ其ノ期日ハ其ノ都度之ヲ定ム但外國語ノ再試験ハ第三學年第二學期ニ相當スルモノノ外ハ之ヲ行ハスシテ次學期評點ノ百分ノ十ヲ減シタルモノヲ以テ評點トシ二學期連續シテ未修了ナル場合ハ減點シタル點數ヨリ更ニ百分ノ五ヲ減ス以下之ニ倣フ此場合ニ於ケル評點ハ六十未滿ナルモ當該學科目ハ修了シタルモノト見做ス

再試験ノ評點ハ其ノ得點數ヨリ百分ノ十ヲ減シタルモノトス

第九條 己ムヲ得サル事由ニ依リ學期試験ニ缺席シタルモノハ追試験ヲ願出ツルコトヲ得追試験ノ許否及日時ハ職員會ニ於テ之ヲ決ス

追試験ノ評點ハ其ノ得點數ヨリ百分ノ十ヲ減シタルモノトス但兵役其ノ他之ニ準スヘキ事故ニ依リ缺席シタルモノノ追試験評點ハ減點セサルコトアルヘシ

第十條 學業成績ハ總テ之ヲ公表セス

第四 生徒課所管

一 生徒心得

第一條 本校生徒ハ左ノ條々ヲ服膺スヘシ

一 校則ヲ嚴守シ生徒ノ本分ヲ完ウスヘシ

二 心身ヲ練磨シ質實剛健ノ氣象ヲ振起スヘシ

三 學業ヲ勵ミ品行ヲ慎ミ德器ノ大成ヲ期スヘシ

第二條 登校ノ際ハ必ス規定ノ服裝ヲナスヘシ事故ニ因リ制服ヲ着用スルコト能ハサルトキハ生徒課ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 外出ノ時ハ和服ヲ着用スルモ差支ナシト雖制帽及袴ハ必ス之ヲ着用スヘシ

第四條 校内ニ於テハ生徒控所及屋外ノ外喫咽飲食スヘカラス

第五條 凡テ揭示ハ直ニ之ヲ知了シタルモノト認ムルニヨリ常ニ揭示ニ注意スヘシ

第六條 生徒ニシテ揭示ヲナサントスルトキハ豫メ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 校ノ内外ヲ問ハス生徒集台ヲ催ストキハ豫メ生徒課ニ届出ツヘシ

第八條 缺席缺課セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ生徒課ニ届出ツヘシ若シ豫メ届出難キ事情アルトキハ缺席缺課セシ翌日届出ツヘシ但病氣缺席十日以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第九條 通學生徒ハ每學期初十日以内ニ宿所ヲ生徒課ニ届出ツヘシ轉宿シタルトキハ其ノ當日ヨリ三日以内ニ新宿所ヲ届出ツヘシ

第十條 學校ノ建物及器物ヲ毀損又ハ亡失セサル様注意スヘシ若シ過テ之ヲナシタルトキハ直ニ生徒課ニ届出ツヘシ場合ニ依リテハ辨償セシムルコトアルヘシ

第十一條 轉籍改氏改名シタルトキハ生徒課ニ届出ツヘシ

二 生徒服装規程

生徒ノ制服左表ノ如シ

制	帽				制
	上冬	略	正	制	
地質	制式	側章	地質	帶布	制式
黑又ハ紺ノ羅紗、ヘル、サージ、小倉織	如圖	真鍮製金色ニシテ如圖	白麥稈	黑無地ニシテ巾約一寸	如圖
				真鍮製金色ニシテ如圖	普通學生帽ニシテ黑毛綾織帶布ヲ附ス
					黑羅紗

靴	服										
	袴夏		衣上夏		袴冬		衣				
地質	制式	地質	制式	襟章	卸	地質	制式	地質	制式	襟章	卸
黑革	隨意	上衣ニ同シ	冬袴ニ同シ	冬衣ニ同シ	冬衣ニ同シ	霜降小倉織	冬衣ニ同シ	上衣ニ同シ	如圖	真鍮製金色ニシテ如圖	真鍮製金色ニシテ如圖

制服着用期間左ノ如シ(時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ)

冬服 自十月十一日 至五月二十日

夏服 自五月二十一日 至十月十日

細則

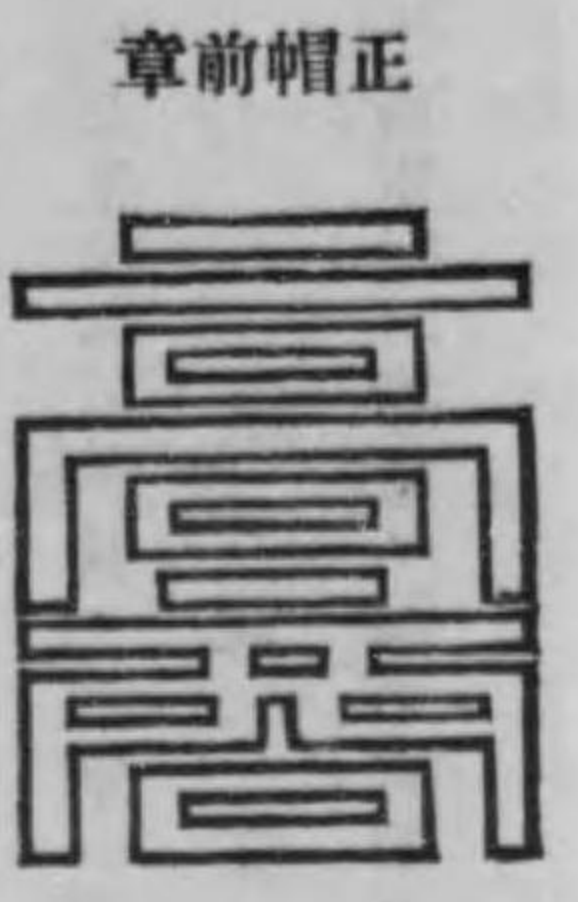
四三



前鈕ハ徑約七分
袖鈕ハ徑約六分
襟章ハ
一年生ハ一本
二年生ハ二本
三年生ハ三本
トス

三 組長副組長規程

- 第一條 各組ニ組長及副組長各一名ヲ置ク
- 第二條 組長副組長ハ其ノ組生徒中ヨリ選舉セシメ組主任ノ推舉ニヨリ校長之ヲ命ス
- 第三條 組長ノ任務左ノ如シ
- 一 命令、通知等ヲ其ノ組ノ生徒ニ傳達スルコト
 - 一 教室内ノ整頓及清潔ニ注意シ不都合ナカラシムルコト
 - 一 第二號鐘後十分間ヲ經テ教員出場ナキトキハ教務課ニ就キ其ノ出勤ノ有無ヲ問合スコト
 - 一 其ノ他校長又ハ職員ヨリ臨時ニ命セラレザル事項
- 第四條 副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス



第五 寮務課所管

細則

四三

寄宿寮規則

第一章 總則

第一條 寄宿寮ハ寮務課ノ管理ニ屬ス

第二條 寮務課長及係員ハ在寮生徒ノ共同生活ヲ監督指導ス

第二章 入寮及退寮

第三條 本校生徒ハ最初ノ一年間寄宿寮ニ在寮スヘキモノトス但學校所在地及附近ニ自宅又ハ近親者ヲ有スルモノ及特別ノ事情アルモノハ學校長ノ許可ヲ得テ外泊スルコトヲ得

第四條 前條ノ在寮生徒收容定數ニ充タサル時ニ第二學年以上ノ生徒ヲ希望ニヨリ入寮セシム

第五條 入寮及退寮ハ學年ノ始及終ニ於テ行フ但特別ノ事情アリテ中途入寮又ハ退寮セントスル者ハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第六條 在寮生徒病氣ノ時ハ病氣ノ性質程度ニヨリ退寮療養セシムルコトアルヘシ

第七條 在寮生徒ニシテ其ノ本分ニ背反スル行爲アリト認ムル時ハ之ニ退寮ヲ命スルコトアルヘシ

第三章 在寮心得

第八條 在寮生徒ハ靜肅ヲ保チ清潔ヲ旨トスヘシ

第九條 日課時限ハ左ノ通之ヲ定ム但時期ニヨリ之ヲ變更スルコトアルヘシ

午前六時 起床

午前七時 朝食

正午 晝食

午後五時 夕食

午後七時 自習

午後十時 門限 點檢

午後十時三十分 消燈

第十條 起床ヨリ門限マテヲ外出時間トス

第十一條 外出スルトキハ生徒立關備付ノ名札ヲ裏返シ朱書ノ氏名ヲ表ニナシ置クヘシ

第十二條 己ムヲ得サル事情ニヨリ門限ニ遅刻シタルトキハ歸寮ノ際口頭ヲ以テ寮務課ニ届出テ遅刻簿ニ記入スヘシ

第十三條 己ムヲ得サル事情アリテ外泊セントスルモノハ寮務課ニ願出テ所定ノ手續ヲ了スヘシ

第十四條 外出中俄ニ外泊スルノ己ムヲ得サル事情ヲ生シ前條ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日門限迄

ニ其ノ事由ト居所トヲ寮務課ニ届出ツヘシ

第十五條 歸省又ハ旅行セントスルモノハ寮務課ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 外泊歸省又ハ旅行シタルモノ歸寮セシ時ハ直ニ寮務課ニ届出テ所定ノ手續ヲナスヘシ

第十七條 在寮生徒發病シタルトキハ直ニ寮務課ニ届出ツヘシ

第十八條 病氣又ハ其ノ他ノ事由ニヨリ點檢ヲ受クル能ハサル者ハ豫メ點檢委員ニ届出ツヘシ

第十九條 放課後ヨリ自習時間マテヲ娛樂時間トス

第四章 寄宿寮委員

第二十條 寮内ノ事務ヲ處理スルタメニ寄宿寮委員若干名ヲ置ク

第二十一條 寄宿寮委員ハ各寮ヨリ寮生ノ互選ニヨリ寮務課長之ヲ命ス

第二十二條 寄宿寮委員ノ任期ヲ一學期間トス

第二十三條 寄宿寮委員ハ左ノ事務ヲ分擔ス

圖書 運動 娛樂 園藝 炊事 清潔 點檢 其ノ他必要ナル事項

第二十四條 寄宿寮委員ハ必要ニ應ジ委員會ヲ開ク

第二十五條 寄宿寮委員ノ決議事項ハ寮務課ノ許可ヲ受クルヲ要ス

第五章 寄宿料

第二十六條 在寮生徒ハ寄宿料トシテ年額二十圓ヲ會計課ニ納ムヘシ

第一期 六圓 四月十日ヨリ全月十六日マテノ間

第二期 八圓 九月十一日ヨリ全月十七日マテノ間

第三期 六圓 一月八日ヨリ全月十四日マテノ間

第二十七條 一期間ノ中途入寮シタルモノノ寄宿料ハ月割トシ入寮ノ月ハ在寮一ヶ月ト見做ス

第二十八條 納期ノ初日ヲ過キテ入寮シタル者ノ當期寄宿料ノ納入期日ハ入寮ノ日ヨリ七日間トス

第二十九條 一旦納附シタル寄宿料ハ如何ナル事情アルモ之ヲ返付セス

第六 圖書課所管

一 圖書閱覽規程

第一條 本校圖書館ニツキ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ルモノハ本校職員、生徒及校外者ニシテ校長ノ許可ヲ得タルモノニ限ル

校外者ニ關スル閱覽許可手續ハ別ニ之ヲ定ム

生徒停學處分ヲ受クルトキハ圖書ノ閱覽ヲ爲スコトヲ得ス

第二條 閱覽室ハ祝日、大祭日、日曜日、開校記念日、春季夏季及冬季休業中ノ或日數ヲ除キ毎日之ヲ開ク但開閉ノ日時ハ隨時之ヲ揭示ス

第三條 閱覽室ニ於テ圖書ヲ閱覽セントスルモノハ所定ノ閱覽票ヲ係員ニ提出シ之ト引換ニ圖書閱覽証ノ交付ヲ受ケ出納所ニ備付ケアル目錄ニヨリ閱覽証ニ著者書名記號自己ノ學年組姓名其ノ他ノ要件ヲ

明瞭ニ記シ係員ニ之ヲ提出シテ貸渡ヲ受クヘシ閱覽票ハ退場ノ際返附ス但出納所常置圖書ノ閱覽ハ之ヲ所定ノ席ニ於テナストキニ限リ本條所定ノ手續ヲ要セス
生徒閱覽票ノ様式左ノ如シ

和歌山高等 商業學校 圖書閱覽票	自大正	年	月	日
	至大正	年	月	日
年組				

(表)

- 一本票ト引換ニアラサレハ係員ハ圖書閱覽証ヲ交附セサルモノトス
- 一本票ハ之ヲ他人ニ貸與スヘカラス表記本人以外ノ者本票ヲ使用スルトキハ之ヲ沒收ス
- 一本票ヲ紛失シタルトキハ理由ヲ具シ速ニ再交附ヲ求メラルヘシ
- 一本票不正使用者ハ圖書閱覽ヲ禁セラレヘシ
- 一スヘテ閱覽規程等ハ堅ク之ヲ守ルヘシ

(裏)

第四條 閱覽者一名ノ一時ニ閱覽スルコトヲ得ル圖書冊數左ノ如シ

生徒 和漢洋書通算 參冊
校外者 全 貳冊

一名ニテ同一圖書二冊以上閱覽スルコトヲ得ス

第五條 閱覽圖書ノ一部ヲ一日返納スルトキハ前條規定ノ制限ニ充ツルマテ更ニ他ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第六條 閱覽圖書ハ總テ閱覽室内ニ於テ閱覽スヘク之ヲ室外ニ持去ルヘカラス又特別圖書ハ特定ノ席ニ於テ閱覽スルコトヲ要ス

第七條 閱覽圖書ハ他人ニ轉貸スヘカラス

第八條 圖書ノ閱覽ヲ終リタルトキ或ハ閱覽室閉鎖ノ時刻ニ到リタルトキハ直ニ閱覽圖書ヲ係員ニ返納シ退場スヘシ

第九條 閱覽者ハ喫煙、私語、音讀其ノ他他人ノ閱覽ノ妨ケトナルヘキ舉動ヲ爲スヘカラス

第十條 閱覽圖書ハ最モ鄭重ニ取扱フヘク總テ圖書タルノ機能ヲ害スヘキ行爲アルヘカラス

第十一條 圖書ヲ汚染毀損若クハ紛失シタルモノハ修繕ヲ加ヘシメ或ハ同一圖書ヲ以テ償ハシム但場合ニ依リ相當ノ修繕料若ハ代價ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十二條 閱覽者以上ノ規程ニ違背スルトキハ爾後圖書ノ閱覽ヲ許サス且閱覽室ノ出入ヲ禁シ情狀ニ依リ更ニ相當ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第十三條 閱覽者ハ時々ノ揭示ニ注意シ之ニ從フヘシ

二 圖書帶出規程

第一條 圖書帶出ヲ願出ツルコトヲ得ルモノハ圖書閱覽規程第一條ニヨリ圖書閱覽ヲ爲シ得ルモノニ限ル但校外者ニアリテハ校長ノ許可ヲ得タル官公衙學校ニ限ル

第二條 圖書ヲ帶出セントスルモノハ圖書借用證ニ著者書名部數冊數記號期日自己ノ學年組住所姓名其ノ他ノ要件ヲ詳記シ捺印ノ上當該學科担任教官或ハ圖書課長ノ承認ヲ經テ係員ニ之ヲ提出スヘシ但教科用其ノ他校務用帶出ノ場合ハ別ニ定ムル所ノ手續ニヨル

第三條 圖書帶出ハ圖書整理ノ都合上隨時全般ニ亘リ或ハ一部分之ヲ停止シ或ハ帶出部數冊數期間ノ制限ヲ變更スルコトアルヘシ

第四條 出納所常置ノ圖書其ノ他辭書叢書統計書年鑑圖書地圖新聞新着雜誌並ニ特別圖書ハ本規程ニヨル帶出ヲ許サス

第五條 借用者一名ノ一時ニ帶出ヲ爲スコトヲ得ル冊數及期間左ノ如シ

教 官(教科用トシテノ場合ヲ除ク) 和漢洋書通算 十冊 一ヶ月以内

其ノ他ノ職員(校務用トシテノ場合ヲ除ク) 同 三冊 十四日以内

生 徒 同 三冊 七日以内

第六條 帶出圖書ハ期日迄ニ返納スヘシ引續キ帶出セントスルモノハ更ニ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ期日前ト雖モ圖書課ヨリ請求アルトキハ直ニ返納スヘシ

第七條 帶出圖書ハ春夏冬季休暇前之ヲ返納セシム其ノ期日ハ之ヲ揭示ス

第八條 休暇中帶出ヲナサントスルモノハ休暇ノ始迄ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

之ニ關シテハ第五條規定ノ制限ヲ準用ス但期間ニ就テハ此ノ限リニ非ス

第九條 職員退職休職轉任シ又ハ三ヶ月以上任地ヲ離ルルトキ及生徒休學退學卒業シタルトキハ直ニ帶出圖書ヲ返納スヘシ

第十條 圖書閱覽規程第七條第十條乃至第十三條ハ圖書帶出ニ就テ之ヲ準用ス

三 教科用其ノ他校務用圖書帶出規程

第一條 教官カ其ノ擔任學科研究ノタメ帶出ヲナス圖書ニ就テハ部數冊數期間ニ制限ヲ設ケス其ノ他ノ職員カ校務上必要ノ圖書帶出ヲナストキ亦同シ但何レノ場合ニアリテモ其ノ用ナキニ至レルトキ或ハ圖書課ヨリ請求アルトキハ直ニ返納スヘキモノトス

第二條 前條所定ノ帶出ヲナサントスルトキハ教科用圖書借用證或ハ校務用圖書借用證ニ帶出者自ラ之ヲ記シ圖書課ニ提出シテ圖書ヲ受領スヘシ

第三條 本規程ニヨル帶出圖書ノ保管ニ就テハ帶出者其ノ責ニ任ス

第四條 本規程ニヨル帶出圖書ハ更ニ圖書課ニ就キ相當手續ヲ履ムニアラザレバ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

四 校外者圖書閱覽規程

第一條 本校所藏ノ圖書ハ本規程ニ據リ其ノ許可ヲ得ルニアラサレハ校外者之ヲ閱覽スルコトヲ得ス

- 第二條 本校所藏圖書ノ閱覽許可ヲ得ントスルモノハ其ノ研究學科ヲ定メ本校教官ノ紹介ニヨリ或ハ適當ノ保證人ヲ立テ願書ヲ圖書課ヲ經テ校長ニ差出スヘシ
- 第三條 右ノ手續ニヨリ閱覽許可願出ニ就テハ校長之カ許否ヲ決ス
- 第四條 閱覽許可ヲ與ヘタルモノハ校外者閱覽許可名簿ニ登錄シ校外者圖書閱覽許可証ヲ交附ス其ノ様式左ノ如シ

第 第
自大正 年 月 日 至大正 年 月 日
和歌山高等商業學校 校外者圖書閱覽許可證
學科研究 殿
年

(表)

- 一 圖書ヲ閱覽セントスルトキハ此ノ証ヲ係員ニ渡シ圖書閱覽證ヲ受取ルヘシ
- 一 此ノ證ハ他人ニ轉貸スルヘカラス
- 一 此ノ證ヲ毀損亡失シタルトキハ速ニ届出ツヘシ
- 一 此ノ證ノ有効期間經過シ引續キ閱覽セントスルモノハ新許可證ヲ請求スヘシ
- 一 此ノ證ヲ交付セラレタルモノハ凡テ校外閱覽規程並ニ本校圖書閱覽規程其ノ他隨時ノ揭示ニ從フヘシ

(裏)

- 第五條 閱覽許可ノ有効期間ハ一學年間トシ閱覽許可証ニ之ヲ記載ス有効期間ヲ經過セル閱覽許可証ハ本人ノ請求ニヨリ新閱覽許可証ト交換ス
- 第六條 閱覽許可証ハ他人ニ轉貸スヘカラス

- 第七條 閱覽許可証ヲ毀損亡失シタルトキハ速ニ其ノ事由ヲ具シテ届出テ之カ再交付ヲ受ケヘシ亡失閱覽許可証ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ返納スヘシ
- 第八條 閱覽許可ヲ得タルモノ圖書ヲ閱覽セントスルトキハ閱覽許可証ヲ係員ニ渡し校外者圖書閱覽證ノ交付ヲ受ケ之ニ著者書名部數記號氏名年月日等ヲ詳記シテ係員ニ差出シ貸渡ヲ受クヘシ
- 第九條 閱覽ハ閱覽室内特定ノ席ニ於テナスヘシ
- 第十條 圖書ヲ閱覽室外ニ持去ルヘカラス
- 第十一條 校用上必要アルトキハ閱覽中ト雖モ圖書ヲ返納セシムルコトアルヘシ
- 第十二條 閱覽ヲ終リタルトキ若ハ閱覽室閉鎖時刻ニ到レルトキハ圖書ヲ係員ニ返納シ閱覽許可証ヲ受取り退室スヘシ
- 第十三條 其ノ他圖書閱覽ニ就テハ本規程並ニ本校圖書閱覽規程及隨時ノ揭示ニ從フヘシ
- 第十四條 前條諸規程ニ違背シタルモノハ其ノ閱覽許可証ヲ無効トシ若ハ之ヲ沒收シ爾後閱覽ヲ許可セサルコトアルヘク或ハ相當ノ處置ヲ執ルコトアルヘシ

五 圖書購入規程

- 第一條 圖書購入ノ請求ヲナシ得ルモノハ教官其ノ他ノ職員トス購入請求圖書ノ種類ハ教官ニアリテハ自己擔當ノ學科ニ關スルモノヲ主トシ其ノ他ノ職員ハ校務上必要ナルモノニ限ル但校長ヨリ特ニ調査

研究ヲ命セラレタル場合ハ此ノ限ニマラス

第二條 圖書購入ヲ請求セントスルモノハ圖書購入請求書ニ必要ノ事項ヲ記入シ圖書課長ニ差出スヘシ

第三條 圖書課長ハ豫算其ノ他ノ調査ヲナシ差支ナキトキハ校長ノ承認ヲ受ケ直ニ購入ノ手續ヲナスヘシ

第四條 圖書ノ購入ヲ爲シタルトキハ原簿ニ登録シ閲覧ニ必要ナル手續ヲナシ之ヲ了リタルトキハ直ニ

請求者ニ通知スヘシ

六 寄贈圖書取扱規定

第一條 圖書ノ寄贈ヲ受ケタルトキハ之ヲ寄贈圖書受付簿ニ記入シ直ニ謝狀ヲ發送スヘキモノトス

第二條 寄贈圖書ハ之ヲ圖書原簿ニ登録シ閲覧ニ供スル手續ヲナスヘシ但小冊子及之ニ類似ノモノハ圖書原簿ニ登録スルコトナク閲覧ニ供スル手續ヲナスコトヲ得

第三條 一時ニ或ハ繼續シテ多數圖書ノ寄贈アリタルトキ校長カ其ノ價值アリト認ムル場合ニハ寄贈者ノ希望ニヨリ特ニ書架ヲ設ケ之ヲ別置スルコトアルヘシ

第七 寄贈雜誌新聞取扱規定

第一條 雜誌新聞其ノ他之ニ類似ノモノニシテ初メテ寄贈ヲ受ケタルトキハ直ニ謝狀ヲ出シ其ノ後引續

キ寄贈アルモノハ雜誌ハ半年毎、新聞ハ三ヶ月毎ニ謝狀ヲ出スヘキモノトス

第二條 寄贈雜誌新聞ノ保存ニ關シテハ永久當分其ノ年中ニ區別シ永久保存ノモノハ製本後圖書原簿ニ登録スヘシ其ノ區別ハ圖書課長之ヲ爲ス

八 圖書寄託規程

第一條 閲覧ニ供シ若ハ保管ヲ請フ目的ヲ以テ本校ニ圖書ヲ寄託セントスルモノハ其ノ事由ヲ詳記シ目錄ヲ添ヘ豫メ圖書課ニ照會シ差支ナキトキハ圖書課長ヲ經テ校長ニ寄託願書ヲ差出スヘシ

第二條 寄託圖書ハ本校所藏ノ圖書ト同様ノ取扱ヲナス

第三條 寄託圖書ハ圖書課其ノ保管ニ注意スレトモ火災盜難其ノ他ノ事故ニヨル毀損亡失ニ對シテハ本校其ノ責ニ任セス

九 圖書點檢規程

第一條 圖書ノ點檢ハ隨時之ヲ行フ

第二條 前條ノ規程ニヨリ其ノ必要アルトキハ圖書帶出規程ニヨリ帶出圖書ノ返納ヲ請求スヘシ

十 圖書出納規程

第一條 購入手續ヲ了シタル圖書ハ之ヲ書庫ニ收藏ス

第二條 圖書ノ檢索出納ハ圖書課員之ニ從フ

第三條 教官ハ前條ノ規程ニ拘ラス書庫ニ入り圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

十一 圖書課報告規程

第一條 圖書課長ハ毎月十日迄ニ前月ノ閱覽及帶出統計並ニ圖書增加表ヲ作製シ校長ニ之ヲ報告スヘシ

第七 商品課所管

商品陳列館公開規程

第一條 本館ハ無料ニテ一般公衆ノ縱覽ヲ許可ス但開館ノ日時ハ別ニ之ヲ揭示ス

第二條 本館ハ都合ニ依リ一時縱覽ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第三條 本館備品及陳列品ニ損害ヲ加ヘタル者ハ事情ニヨリ辨償セシムルコトアルヘシ

第四條 本館縱覽心得ヲ遵守セサル者ハ縱覽ヲ謝絶ス

第八 庶務課所管

一 宿直規程

第一條 判任官以下ノ職員ハ輪番ヲ以テ一名ツ、宿直勤務ヲ爲スヘシ

宿直ノ順序ハ庶務課ニ於テ之ヲ定メ三日前ニ本人ニ通知スヘシ

第二條 宿直勤務時間ハ平日ニ在リテハ退出時限ヨリ翌日登校時限迄休日ニ在リテハ平日ニ於ケル登校

時限ヨリ翌日登校時限迄トス但保管物ノ引繼ヲ了スルニアラサレハ勤務ヲ離ルルコトヲ得ス

第三條 左ノ期間中ハ宿直ヲ免ルルモノトス

一 出張ノ前日ヨリ歸任ノ翌日迄

二 七日以上ニ亘リ病氣缺勤中

三 父母ノ看病及祭典等ニ依リ請假中

四 忌引中

五 新任者出仕後七日間

第四條 病氣其ノ他ノ事故ニ依リ宿直ヲ爲スコト能ハサルトキハ豫メ其ノ旨校長ニ願出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ宿直猶豫ヲ要スルモノト認メタルトキハ宿直ノ順序ヲ繰上クルモノトス但本人ノ希

望ニ由リ他人ヲシテ代勤セシムルコトアルヘシ

前項ニ依リ宿直ノ順序ヲ繰上ケタルトキハ猶豫者ニ對シテハ事故止ミタル後之ヲ補勤セシムルモノト

ス

第五條 宿直室ニハ當直中左ノ物品帳簿ヲ備ヘオクヘシ

一 諸室 鎖 鑰

一 職員住所録

一 生徒姓名録

一 當直日誌

細則

一 電信用語符號表

一 文書送附録

一 郵便切手及郵便切手受拂簿

第六條 宿直員ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 校内ノ警備、取締ニ注意シ非常ノ場合ニハ巡視及小使ヲ指揮シ臨機ノ處置ヲ執ルコト、事ノ重大ナルモノ又ハ緊急ヲ要スル事項ハ直ニ校長及主任者ニ報告スルコト

二 文書等ノ發送收受但急ヲ要スルモノハ直ニ處理スルコト

三 鎖鑰ノ保管

四 宿直日誌ニハ左記事項ヲ明記シ毎日庶務課ノ檢閲ヲ受クルモノトス

月日曜及天候

職員及守衛以下ノ宿直者氏名

文書等ノ發送及收受

鎖鑰ヲ使用シタルトキハ其ノ事由

登校者氏名

校内異狀ノ有無

其ノ他ノ處理事項

第七條 宿直員ハ火元其ノ他一般ノ取締ニ任シ夜間ハ午後八時ヨリ一回以上巡視若ハ小使ヲ伴ヒ校舍ノ

内外ヲ巡視シ異狀ノ有無ヲ調査スヘシ

第八條 宿直勤務後ハ事務ニ支障ナキ限り許可ヲ得テ正午以後早退スルコトヲ得

二 文書取扱規程

第一條 公文書ハ第三條ニ依ルモノノ外總テ庶務課ニ於テ收受シ收受簿ニ登記シ番號及月日ヲ記入シ直

ニ主管課ニ配付シ取扱者ノ印ヲ徵スヘシ二課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ親展書

ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スヘシ

第二條 配付ヲ受ケタル文書ニシテ他ノ課ノ主管ニ屬スルモノアルトキハ庶務課ニ還付スヘシ

第三條 左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セズ主管課ニ於テ直ニ接受スヘシ

一 教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類

二 生徒ヨリ差出ス願届書類

三 入學願票

四 其ノ他校長ノ指定シタル書類

第四條 配布ヲ受ケ又ハ接受シタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スヘシ

事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハス又ハ處分ヲ要セスト認ムルトキハ校長ニ供閱シ指揮ヲ受クヘシ

第五條 左ノ文書ハ主管課長限リ處分スヘシ

一 生徒在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ

二 生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ

三 生徒ノ宿所入寮退寮及諸届出ニ關スルモノ

四 物品ノ支給ニ關スルモノ

五 一定ノ例規ニ依ルモノ

第六條 決裁済ノ文書ハ主管課ニ於テ速ニ處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ回付スヘシ執務時間以外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ當直ニ回付スヘシ

付スヘシ

第八條 庶務課ニ於テ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ以テ之ヲ件名簿ニ登記スヘシ

第九條 庶務課ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ月日受信名料金ヲ登記スヘシ

第十條 事件ノ完結シタル文書ハ主管課ニ於テ整理シ之ヲ保存スヘシ文書ノ保存年限ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 各課ニ於テハ保存スヘキ文書ノ簿冊目錄ヲ備フヘシ

第十二條 文書處理ノ統一整頓ヲ計ル爲毎年一回檢閲ヲ行フ但檢閲ハ機密文書未完ノ文書ニ及ボサス文

書檢閲委員ハ其ノ都度職員中ニ就キ之ヲ命ス

三 文書保存規程

第一條 事件完結シタル文書ハ各主管課ニ於テ整理編纂シテ之ヲ保存スヘシ

第二條 文書編纂ノ種類及其ノ保存期間ハ別ニ之ヲ定ム但特別ノ事由アルトキハ經伺ノ上之ヲ改廢シ若

ハ別ニ種類ヲ設クルコトヲ得

第三條 文書ハ左ノ各號ニ依リ編纂スヘシ

一 事件完結ノ順序ニ依リ曆年(會計ニ關スルモノハ會計年度)ヲ以テ分界トス但紙數ノ多寡ニ依リ一ケ年分ヲ便宜分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得

二 卷首ニ件名及索引丁數ヲ掲記シタル目錄ヲ附シ其ノ表紙ニ簿冊名年若ハ年度、保存期間保管函號及主管課名ヲ記載シ數冊ニ分綴セシモノハ數字ノ符號ヲ附シ尙檢索ヲ容易ナラシムル爲前部切斷面ニ簿冊名年若ハ年度保存期間ヲ標記スルコト但保存期間三年ニ屬スル文書ニハ目錄ヲ附セサルコトヲ得

三 圖表類ニシテ合綴シ難キモノハ袋又ハ筥ニ納メテ名稱ヲ標記シ其ノ所在ヲ目錄ニ附記スルコト

第四條 前條ニ依リ編纂シタル文書ハ文書臺帳(別紙様式)ニ登録シテ之ヲ一定ノ場所ニ藏置スヘシ

第五條 保存期間ハ文書完結ノ翌年ヨリ起算ス但會計年度ニ屬スルモノハ翌年度ヨリ起算スヘシ

第六條 保存期間ヲ了リ若ハ未タ了ラサルモ保存ノ必要ナシト認メタル文書ハ經伺ノ上之ヲ會計課ニ引

繼クヘシ但一般ノ披閱ヲ避クヘキ文書ハ引繼前經伺ノ上相當ノ措置ヲ爲スヘシ

前項ノ引繼ヲ了リタルトキハ文書臺帳ニ廢棄年月日ヲ記入スヘシ

自大正 年(度)
至大正 年(度)

文書臺帳

課

名	稱	年(年度)	冊數	保存期間	保存終期	保存函號	廢棄年月日

四 學校醫服務規程

第一條 學校醫ハ學校及寄宿寮ノ衛生ニ關スル職務ニ従事ス

第二條 學校醫ハ每週一回出勤シ衛生ニ關スル事項ヲ視察シ又疾病ニ罹レル生徒アラハ之ヲ診察スヘシ

第三條 學校醫ハ毎年四月全校生徒ノ身体ヲ検査スヘシ

第四條 學校醫ハ衛生上備付ノ藥品、器具及器械ヲ保管スヘシ

第五條 前各條ノ外校長ニ於テ必要ト認メタルトキハ學校醫ハ臨時出勤シテ生徒疾病ノ診斷、身体ノ檢

査及衛生ニ關スル事務ヲ執ルヘシ

第六條 學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事項ニ就キテハ校長ニ申告スヘシ

第九 會計課所管

物品會計細則

第一條 物品ノ保管及出納ハ物品會計規則并文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

シ

第二條 物品ノ種別ハ別表ニ依ル、別表ニ依リ難キモノアルトキハ校長之ヲ定ム

第三條 各課長及部長ハ一ケ年分ノ所要物品數量ヲ各品名毎ニ月別ニ區分シ年度開始一ケ月前ニ會計課

長ニ報告スヘシ但豫定シ難キモノハ此ノ限ニアラス

第四條 各課ニ備品監守者及消耗品取扱者各一名ヲ置キ所屬備品ノ監守及消耗品取扱ノ責ニ任セシム

第五條 備品監守者及消耗品取扱者ハ校長之ヲ命ス

第六條 物品會計官吏ノ受入命令ヲ受ケタルトキニ直ニ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 備品ニアリテハ適當ノ方法ニ依リ校名及記號番號ヲ附ス但圖書及標本ハ所屬部局ニ於テ定メタル

モノニ依ル

細則

一 消耗品ニ在リテハ其ノ品名及數量等ヲ明瞭ナラシムル方法ニ執リ整理ス

第七條 物品會計官吏備品供用命令ヲ受ケタルトキハ現品ヲ指定ノ備品監守者ニ交付シ領收書ヲ徴シ物品出納簿并ニ備品整理カードニ其ノ事項ヲ記載スヘシ

第八條 物品會計官吏消耗品拂出命令ヲ受ケタルトキハ理由ヲ指定ノ消耗品取扱者ニ交付シ領收書ヲ徴スヘシ

第九條 備品監守者又ハ消耗品取扱者ハ物品ノ授受ニ關シ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 物品會計官吏ヨリ物品ヲ受入タルトキハ領收書ヲ差出シ備品ハ監守簿ニ消耗品ハ受拂簿ニ登記スヘシ

二 不用物品ハ其ノ品名(備品ニアリテハ記録番號ヲ附記ス)數量及不用ニ至リタル事由ヲ記載シタル返付書ヲ添ヘ其ノ都度物品會計官吏ニ返付シ監守簿又ハ受拂簿ニ領收ノ認印ヲ受クヘシ

三 消耗品ヲ支給スル場合ニハ使用者ヲシテ受拂簿領收欄ニ捺印セシムヘシ

第十條 備品監守者又ハ消耗品取扱者相互間ニ於テハ物品ヲ授受スルコトヲ得ス

第十一條 備品監守者ハ備品ノ用途又ハ形狀ヲ變更シ若ハ修理ヲ加フル必要ヲ生シタルトキハ物品會計官吏ニ申出テ其ノ指示ヲ受クヘシ

第十二條 備品ハ物品會計官吏ノ承認ヲ經スシテ校外ニ搬出シ又ハ職員生徒以外ノモノニ貸付スルコト

ヲ得ス但特ニ規定スルモノハ此ノ限ニアラス

第十三條 備品監守者其ノ監守ニ屬スル備品ヲ一時職員生徒ニ貸付セントスルトキハ備品貸付簿ニ登記シ借受人ヲシテ捺印セシムヘシ

圖書標本及實驗用品ノ貸付ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第十四條 物品會計官吏ハ備品監守者、消耗品取扱者ノ物品使用ノ状態ニ付調査スルコトヲ得

第十五條 物品ノ毀損又ハ紛失アリタルトキハ物品會計官吏備品監守者消耗品取扱者及使用者ハ其ノ品名(備品ニアリテハ記號番號ヲ附記ス)數量及顛末ヲ詳記シタル始末書ヲ校長ニ差出スヘシ

前項ノ始末書ハ物品會計官吏以外ノモノニ在リテハ物品會計官吏ヲ經由シ且毀損物品ハ其ノ現品ヲ添付スヘシ

第十六條 前條紛失ノ場合ニ於テハ校長ハ其ノ顛末ヲ調査シ物品會計官吏以外ノモノニ對シテハ代品又ハ代價ヲ以テ辨償セシム毀損ノ場合ハ其ノ事情ニヨリ處分スルモノトス

第十七條 備品監守者又ハ消耗品取扱者交替ノトキハ前任者及後任者ハ物品會計官吏立會ノ上監守簿又ハ受拂簿ニ對照シテ現品ノ授受ヲ爲スヘシ

前項ノ授受ヲ爲シタルトキハ該帳簿ニ年月日及授受ヲ了シタル旨ヲ記入シ各自署名捺印スヘシ

第十八條 物品ノ檢閲ヲ爲サシムル爲物品檢閲委員若干名ヲ置キ校長之ヲ命ス

前項委員ノ任期ハ一ケ年トス

第十九條 物品檢閲委員檢閲ヲ行フトキハ豫メ物品會計官吏備品監守者及消耗品取扱者ニ通知スヘシ

第二十條 物品檢閲委員檢閲上必要アリト認ムルトキハ物品會計官吏備品監守者消耗品取扱者ヲ檢閲ニ立會ハシメ且質疑ニ對シ答辯ヲ求ムルコトヲ得

第二十一條 物品檢閲委員檢閲ヲ了シタルトキハ物品ノ保管出納并使用ノ適否ニ付意見ヲ具シ校長ニ申報スヘシ

第二十二條 物品會計官吏ハ備品整理カードヲ備ヘ供用在庫ノ別ヲ明ニスヘシ

第二十三條 備品監守者及消耗品取扱者ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ備品ノ監守又ハ消耗品ノ受拂ヲ明確ニスヘシ

- 一 備品監守簿
- 一 備品貸付簿
- 一 消耗品受拂簿
- 一 郵便切手類受拂簿

第二十四條 本則ニ依ル帳簿及諸表ノ様式ハ別表ノ通定ム (別表省略)

第十 調 査 部 所 管

一 調査部資料閱覽規程

第一條 本校職員生徒及ヒ校長ノ許可ヲ得タル校外者ハ本部備付ケノ資料ヲ閱覽スルコトヲ得校外者ニ

關スル閱覽許可手續ハ本校圖書閱覽規定中校外者ニ關スル規定ニヨル

第二條 資料ハ必ス閱覽室内ニ於テ閱覽シ之ヲ室外ニ帶出スルコトヲ得ス

第三條 閱覽室ハ日曜日、大祭祝日、開校記念日春季夏季及ヒ冬季休業中ノ或ル日數ヲ除キ毎日之ヲ開ク但本部ノ都合ニヨリ臨時休日ヲ設クルコトアルヘシ

第四條 閱覽者ハ所定資料閱覽証用紙ニ指定ノ事項ヲ記入シテ掛員ニ差出スヘシ

第五條 閱覽者一名ノ一時ニ閱覽スルコトヲ得ル資料冊數ハ和歐文通算三冊トス但本校職員ハ此ノ限ニ非ス

第六條 借受ケタル資料ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第七條 資料ノ閱覽ヲ終リタル時ハ直ニ之ヲ返還シテ退出スヘシ

第八條 本部ニ於テ必要アルトキハ閱覽中ト雖モ資料ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第九條 資料ヲ毀損汚染又ハ紛失シタルトキハ相當ノ賠償ヲナサシムルコトアルヘシ

第十條 閱覽室ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ飲食喫煙、音讀談話其ノ他他人ノ妨害トナル行爲ヲナスヘカラス

第十一條 閱覽者本規定ニ違背シ又ハ本部ノ指示ニ從ハサルトキハ爾後資料ノ閱覽ヲ許サス

二 調査部資料貸出規定

第一條 本校職員ハ調査部所藏ノ資料ヲ借受クルコトヲ得

前項委員ノ任期ハ一ケ年トス

第十九條 物品檢閲委員檢閲ヲ行フトキハ豫メ物品會計官吏備品監守者及消耗品取扱者ニ通知スヘシ

第二十條 物品檢閲委員檢閲上必要アリト認ムルトキハ物品會計官吏備品監守者消耗品取扱者ヲ檢閲ニ立會ハシメ且質疑ニ對シ答辯ヲ求ムルコトヲ得

第二十一條 物品檢閲委員檢閲ヲ了シタルトキハ物品ノ保管出納井使用ノ適否ニ付意見ヲ具シ校長ニ申報スヘシ

第二十二條 物品會計官吏ハ備品整理カードヲ備ヘ供用在庫ノ別ヲ明ニスヘシ

第二十三條 備品監守者及消耗品取扱者ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ備品ノ監守又ハ消耗品ノ受拂ヲ明確ニスヘシ

一 備品監守簿 一 備品貸付簿

一 消耗品受拂簿 一 郵便切手類受拂簿

第二十四條 本則ニ依ル帳簿及諸表ノ様式ハ別表ノ通定ム (別表省略)

第十 調査部 所管

一 調査部資料閱覽規程

第一條 本校職員生徒及ヒ校長ノ許可ヲ得タル校外者ハ本部備付ケノ資料ヲ閱覽スルコトヲ得校外者ニ

調査部 規程

第一條 本調査部ハ商事ニ關スル調査ヲ行フヲ以テ目的トス

第二條 本部ハ次ノ事業ヲ行フ

一 商事ニ關スル調査

二 商事ニ關スル研究資料ノ蒐集及整理

三 商事ニ關スル著書、論文ノ目錄調製

四 講習會及講演會ノ開催

五 調査、研究ニ關スル公刊物ノ發行

六 其他本部ノ目的ヲ達スル事業

第三條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

部長 一名 委員 若干名

第四條 部長ハ委員ノ互選ニヨリ學校長之ヲ命シ本部ノ事務ヲ掌理ス

第五條 委員ハ教官中ヨリ學校長之ヲ命シ委員會ヲ組織シ本部ノ事業

ニツキ審議シ調査ヲ主幹ス

委員會ハ學校長之ヲ召集ス

第六條 所藏資料ノ閱覽ハ別ニ定ムル所ニ由ル

二 調査部資料貸付日規程

第一條 本校職員ハ調査部所藏ノ資料ヲ借受クルコトヲ得

ル
得ス

休業中ノ或ル日數ヲ除キ毎日之ヲ開

一 差出スヘシ

要算三冊トス但本校職員ハ此ノ限ニ

ハコトアルヘシ

ハルコトアルヘシ

ハノ妨害トナル行爲ヲナスヘカラス

爾後資料ノ閱覽ヲ許サス

第二條 辭書類、圖表、營業報告書、新聞切抜等ハ研究室ニ於テ使用スル場合ノ外貸出ヲ爲サス

第三條 閱覽資料ハ拾冊ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 資料ヲ借受ケントスルモノハ所定ノ借用証書用紙ニ指定事項記入ノ上本部ニ差出スヘシ

第五條 借受ケタル資料ハ之ヲ他ニ轉貸スルコトヲ得ス

第六條 資料貸出期間左ノ如シ

一 新聞切抜及ヒ圖表、營業報告書、辭書統計書、報告書 五日間

一 受入後二ヶ月ヲ經過セサル雜誌其他資料 十五日間

一 前各號以外ノ資料 二十日間

第七條 貸出資料ハ本部ノ都合ニヨリ臨時返還セシムルコトアルヘシ

四 生徒貸出規程

第一條 本校三年生ハ商事研究專修學科ノ參考資料トシテ本部備付資料ノ貸出ヲ出願スルコトヲ得

第二條 前條ノ貸出ヲ受クヘキ資料ハ新聞切抜、營業報告、圖表、辭書以外ノ資料トス

第三條 貸出許否ハ本部長之ヲ決ス

第四條 貸出ハ通常貸出及夏季貸出トシ其ノ時期ハ次ノ如ク定ム

通常貸出 四月十日ヨリ 六月二十日迄

九月二十日ヨリ 翌年二月十日迄

夏季貸出 七月十五日ヨリ 九月十五日迄

第五條 貸出資料ハ一人ニ付三冊ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條 通常貸出期間左ノ如シ

一 統計書 報告書 五日間

一 其他ノ資料 十五日間

第七條 資料ノ貸出ヲ請ハントスルモノハ所定ノ貸出申込書用紙ニ要項ヲ記入シ調査部ニ差出スヘシ

貸出ノ許可アリタルトキハ借用証書用紙ニ所定ノ事項ヲ記入シ掛員ニ差出シ資料ノ交付ヲ受クヘシ

第八條 夏季休業中資料ノ貸出ヲ受ケントスル者ハ七月一日ヨリ同十日迄ノ期間内ニ調査部備付ノ夏季

貸出申込簿ニ指定ノ事項ヲ記入スヘシ

第九條 夏季休業中貸出ヲ許可シタル資料ハ七月十五日借用証書ト引換ニ之ヲ交付ス但交付日ハ變更ス

ルコトアルヘシ

第十條 資料閱覽規定第九條第十一條及ヒ資料貸出規程第五條第七條ハ生徒貸出資料ニ之ヲ適用ス

職員

○職員

大正十四年八月現在

七〇

校長

教授

岡本一郎

商工經營、原價計算、商業算術、商事研究

田中保平

商法、國際私法、佛語、商事研究

西島彌太郎

(在外研究員)

新里文八郎

商業通論、外國爲替、銀行金融、商事研究

山本芳壽

英語

光井武八郎

理化學、商品學及工業大意、工學、商事研究

古賀經美

社會學及社會問題、商事研究

岩城忠一

商業地理、商業歷史、人種學

小野鐵二

(在外研究員)

加川航三郎

修身、國語漢文及作文

大淵慧真

(在外研究員)

山本勝市

英語、商事研究

バチエラー、オプ、アーツ(ワルサイナス大學) マスター、オプ、アーツ(ハンシルバニア大學)

西山貞

財政學、統計學、貨幣論、商事研究

生徒監

經濟學士 堀川實潮

經濟政策、經濟史、海外經濟事情、植民政策、商事研究

法學士 宮川實

經濟原論、經濟學史、英語、商事研究

法學士 橋寺太郎

修身、哲學概論、論理學及心理學、獨語

法學士 水島密之亮

法學通論、憲法及行政法、商事研究

法學士 後藤清

民法、商事研究

助教

數學、理化學、微分積分

長崎精男

体操

陸軍歩兵特務曹長

小林甚兵衛

露語

山口大

支那語

關忠治

講師 (就職順)

商業算術、商業簿記、銀行簿記、會計學、商事研究

陸軍歩兵大尉

土岐政藏

体操

坪倉真次郎

職員

七一

職員

生徒監心得

陸軍歩兵中佐

大阪外國語學校教授

宮城太郎

井上翠

英語

府川哲雄

交通、保險、税關及倉庫

經濟學士

伊藤義路

美術工藝史

文學士

須田國太郎

取引所

法學士

増山忠次

商業算術(珠算)

郭 蕪

支那語

包 翰

英語

大阪外國語學校教師

グレン、キルリアム、

商業實踐、賣買會計監査

神戸高等商業學校教師

アーノード、バーフィールド、
シヨウ
クラツパー

備外國人教師

獨語

ウキルヘルム、フート

英語

デンゼル、カール

佛語

エス、ジャコタン

配屬將校

教練

書記

歩兵第六十一聯隊附
陸軍歩兵少佐

久保田良一

前川安太郎

山本龍三

鈴木賢祐

砂子壽喜造

多田實

大和義夫

囑託
事務員

堀井憲一

木村國一

芝岩太郎

榎原太平

赤平松也

的場光一

職員

校醫

衛生顧問

學校醫

武道師範

柔道

劍道

事務分掌

教務課

課長

七四

高橋博

稻垣義一

森部逸美

中村捷三

中

醫學博士

醫學士

吉田彦一

小林友三

松廣八十八

中村宗平

山本芳壽

小林甚兵衛

生徒課

課長

芝岩太郎

小山田小七

宮城太郎

坪倉真次郎

砂子壽喜造

中

(兼)

宮城太郎

橋寺太郎

坪倉真次郎

赤平松也

小野鐵二

鈴木賢祐

七五

職員

寮務課

課長

圖書課

課長

職員

商品課

課長

庶務課

主任

會計課

主任

(兼)

七六

大和義夫
高橋博
森部逸美

古賀經美
長崎精男
稻垣義一

田中保平
山本龍三
砂子壽喜造
堀井憲一

前川安太郎
多田實

調查部

部長

委員
委員
委員
委員
委員

評議員

教授
同授

七七

木村國一
的場光一
中村捷三
田中保平
田中保平
古賀經美
岩城忠一
堀島潮
水島密之亮
山口大
關口忠治
榎原太平
田中保平
西島彌太郎

學年組主任

- 第三學年A組
- 第三學年B組
- 第三學年C組
- 第二學年A組
- 第二學年B組
- 第二學年C組
- 第一學年A組
- 第一學年B組
- 第一學年C組

同 同 同 同 同

- 光井武八郎
- 古賀經美
- 小山田小七
- 山本芳壽
- 水島密之亮
- 光井武八郎
- 土岐政藏
- 宮城太郎
- 古賀經美
- 西山貞美
- 後藤清
- 宮川實
- 府川哲雄
- 水島密之亮

〇生徒

第三學年 總員百四十三名

岩橋勝三郎	岩田貫一	乾熊雄正	今井正三	稻垣鐵男	石黒夏雄	井尻未男	池田照雄	井口正利	秋月和夫	赤木直	青山干	氏名	本籍府縣
和歌山	愛知	和歌山	三重	和歌山	北海道	京都	同	同	和歌山	香川	廣島	氏名	本籍府縣
奥野貞雄	岡本賢愛	沖田勝一	岡橋保匡	岡田匡潔	大江基近	大市三重	内田左一	宇佐美新一	上野五郎一	上田萬茂	上田正愛	氏名	本籍府縣
奈良	和歌山	兵庫	奈良	京都	和歌山	三重	福井	同	和歌山	同	京都	氏名	本籍府縣
北裏彦吉	北田和成	岸正雄	龜岡義彰	金澤龜太郎	勝田敏夫	柏木俊一	影山次郎	大場幸一	尾崎濟美	小澤利真	大木田信夫	氏名	本籍府縣
同	同	和歌山	大阪	同	同	和歌山	高知	岐阜	和歌山	富山	大阪	氏名	本籍府縣

東出八郎	平田直己	早田榮三郎	林國重	林國重	橋本周藏	羽端瞭一	布引善一	視辰夫	野戸貞男	西口眞雄	西尾英一	奈良正一郎	中橋一雄	中納捷男	長井泰郎	長尾貴典三	中尾久男
和歌山	大阪	同	和歌山	同	京都	同	和歌山	大阪	奈良	和歌山	同	大阪	和歌山	大阪	三重	大阪	岡山
宮野五郎	御前隆弘	宮蘭明夫	水本秀夫	水野龍兒	間部富士夫	松田健太郎	益居泰	松原佳太郎	松浦一三	松井國一	松井貞吉	眞砂才一	朴一夫	古家誠一	藤井新造	平野佐平	平井晴夫
京都	和歌山	鹿兒島	大阪	和歌山	岡山	奈良	同	大阪	兵庫	福岡	奈良	和歌山	鹿兒島	大阪	京都	愛知	兵庫
和田直藏	和田楠之丞	和久義三	渡邊奇敏	渡邊新	若林能員	永田義次	吉村正輝	吉田喜一	山田孫一	山田卯市	八木幹夫	守山守	森史郎	村田勇	向笠慎三	三宅武夫	三宅武夫
同	和歌山	京都	愛媛	兵庫	和歌山	奈良	大分	同	和歌山	兵庫	廣島	岡山	福岡	徳島	和歌山	岡山	岡山

椎崎最三	佐藤清文	阪口嘉四郎	是枝俊雄	兒玉洋一	兒玉賢	小須賀利夫	粉川武男	小泉新一郎	黒川清三	黒岩義夫	栗本秀雄	栗田欣一	久保昌夫	木本米次郎	木村英則	木下彰	喜多野茂樹
和歌山	大分	三重	鹿兒島	同	和歌山	兵庫	茨城	和歌山	大阪	同	和歌山	大阪	和歌山	大阪	同	同	和歌山
高井勝藏	田村近義	田村健一	田中忠男	田坂長廣	田坂義廣	武部日義	竹中博	高田芳太郎	徂徠善一	瀬戸寛一	杉浦己三男	陣屋重一	埴路京造	埴川駒三	島田一義	下山英太郎	篠田隆平
同	同	同	和歌山	山口	同	同	同	同	同	和歌山	愛知	和歌山	和歌山	同	同	大阪	兵庫
中井龍三	中井辰一	中井輝雄	中井英俊	鳥居雄三	友竹廣一	殿井健治	吐崎源三	土屋光宜	土橋春雄	辰見勇平	巽盛三	谷兵吾	武井一郎	武田瓦平	竹田忠次郎	竹田芳一	多紀忠彦
京都	同	同	和歌山	滋賀	徳島	大阪	同	同	同	和歌山	廣島	大阪	高知	同	同	同	和歌山

第三學年 總員百六十六名

赤澤	與仁	德島	五十嵐	武雄	和歌山	大西	博	兵庫
有井	俊彦	和歌山	磯部	修次	山口	大西	藤藏	大坂
安藤	則孝	鹿兒島	稻垣	時十郎	和歌山	大原	清吾	兵庫
井上	勝二	和歌山	上田	哲男	三重	大原	甚語	滋賀
井關	廣勝	和歌山	上原	義男	廣島	岡崎	淳一	和歌山
市谷	辨治	同	海野	敏三	和歌山	小澤	精一	大坂
岩橋	節哉	同	海野	贊平	靜岡	沖川	武夫	新潟
今村	好四郎	佐賀	宇治	榮三郎	和歌山	小田	美乘	大坂
泉	久	石川	江幡	吉雄	茨城	川口	篤藏	和歌山
岩崎	三之助	和歌山	榎本	秀雄	和歌山	川口	慶太郎	三重
石川	久	長野	奥村	英雄	同	川崎	昇太郎	石川
伊賀	宗五郎	和歌山	奥本	壽弘	同	川崎	光雄	石川
伊藤	武夫	京都	太田	武治	奈良	河合	龜次郎	香川
伊藤	慎	同	太田	真明	和歌山	河島	久	和歌山
位野	木義行	香川	太田	昌三	富山	加納	清次郎	大坂

香川	美民	香川	橋原	祐一	廣島	王置	義男	大坂
榎谷	明正	大阪	佐藤	充次	三重	垂井	芳太郎	和歌山
木村	實	和歌山	佐藤	三郎	靜岡	谷澤	清	同
木村	政巳	同	佐藤	三郎	同	武部	新八郎	同
清友	修一	同	佐野	連勝	同	田島	次男	同
紀井	定治	兵庫	坂倉	敏郎	三重	田村	健	同
貴志	富太郎	和歌山	白樺	富士男	和歌山	田村	弘	愛媛
岸本	只光	同	新谷	九郎	石川	瀧本	正次	和歌山
木下	源藏	島根	食見	建治郎	大阪	田中	保吉	岐阜
栗栖	信夫	和歌山	新見	唯一郎	和歌山	高木	松太郎	大阪
栗原	次郎	同	城川	原隆一	富山	高田	憲二	富山
國安	文雄	山口	柴田	常次	愛知	立石	宗米	福岡
兒玉	三郎	石川	杉本	辰善	和歌山	千和	雄	大阪
小阪	義一	和歌山	杉田	利次	富山	津田	文一	和歌山
近藤	博美	福岡	杉藤	朝則	愛知	出口	秋義	京都
阪田	圓彦	和歌山	瀬村	久鎮	同	寺田	政吉	大坂
山東	永夫	同	竹本	正楠	同	鳥居	義一	和歌山
堺	義正	同	竹本	正楠	同	德田	義雄	大坂

濱田	畑	長谷	早崎	早川	服部	服部	橋本	畑野	西原	永田	永井	長澤	長岡	中尾	中尾	中尾	中尾	中尾	濱田
利行	三郎	川寬	勝海	勝齊	勝年	龍彦	孝一	久雄	馨	平八郎	彰	芳夫	逸樹	正	克己	克己	克己	克己	利行
高知	京都	愛知	同	岐阜	岡山	和歌山	奈良	和歌山	高知	愛知	山口	大阪	同	同	廣島	廣島	廣島	廣島	高知
増井	本田	細川	福井	福田	藤井	藤本	藤原	藤岡	深見	福岡	福山	東垣	平尾	平尾	原松	原松	原松	原松	増井
修一	久四郎	豐雄	幸太郎	正勝	廣一	武次	次郎	安人	顯吉	幸二郎	和	和人	政次	博	義春	義春	義春	義春	修一
和歌山	兵庫	岡山	香川	愛知	福岡	大阪	和歌山	大阪	同	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山
山中	山本	矢崎	安川	森川	宮内	水崎	松本	松本	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	山中
潤二	鬼美	盛雄	勝太郎	久隆	久隆	省三	正雄	宅司	茂	義雄	木定	元清	正信	真治	達雄	達雄	達雄	達雄	潤二
和歌山	愛媛	長野	奈良	和歌山	千葉	和歌山	兵庫	静岡	三重	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	京都	京都	京都	京都	京都	和歌山

第一學年 總員百五十二名

山本	山本	八木	山名	山名
千代	下	木	武彦	武彦
代孝	厚	基	同	同
和歌山	香川	鳥取	和歌山	和歌山
吉田	吉澤	吉原	大和	山本
義宜	俊一	進	正義	隆章
和歌山	廣島	岡山	同	和歌山
		和田	脇田	和佐
		孝俊	武治	尚寬
		滋賀	同	同

井上	井上	井上	井上	井上	磯野	飯野	新井	赤木	淺野	氏
源兵衛	健一	春雄	美稻	信雄	武學	文京	澤岐	哲夫	賢三	名
奈良	大阪	同	同	同	和歌山	京都	岐阜	岡山	岐阜	本籍府縣
遠藤	梅田	上山	宇賀	内河	伊藤	岩橋	今田	泉谷	伊野	氏
隆	昂	稔	治泰	虎雄	長司	敏一	正	四治	實	名
大阪	同	和歌山	福井	大阪	福岡	和歌山	同	大阪	香川	本籍府縣
奥村	萩野	大村	大野	大場	岡本	岡本	榎本	江崎	遠藤	氏
龍三	平	勇	惣太郎	二虎	芳一	勇一	嘉一	正二	博	名
滋賀	山口	愛知	兵庫	長崎	和歌山	岡山	和歌山	大阪	三重	本籍府縣

計	(志願者)	入學者	計
三三	三三	三三	三三
八八	八八	八八	八八
二二	二二	二二	二二
五五	五五	五五	五五
九九	九九	九九	九九
一一	一一	一一	一一
三三	三三	三三	三三
六六	六六	六六	六六
九九	九九	九九	九九
一一	一一	一一	一一
三三	三三	三三	三三
六六	六六	六六	六六
九九	九九	九九	九九

第四 入學志願者ノ入學試験合計得点数

學科	學歴別得点				指定專門學校入學者				
	最高	最低	平均	計	最高	最低	平均	計	
本	七六	四九	六三	八一	五一	六六	八一	四九	六五

第五 入學者ノ入學試験科目得点数

試験學科目	中學校卒業者				指定專門學校卒業者				
	最高	最低	平均	計	最高	最低	平均	計	
國語漢文及書取	七九	三七	五八	八五	四六	六六	八五	三七	六一
數學	一〇〇	二七	六四	八〇	二六	五三	八三	二七	六四
英語	八三	二二	五二	八〇	二六	五三	八三	一六	五〇
化學	一〇〇	一八	五九	一〇〇	一〇〇	一八	五九	一八	五九

第六 入學志願者及入學者ノ地方別員數

地方別	入學志願者				入學者			
	十二年	十三年	十四年	計	十二年	十三年	十四年	計
北海道	三	二	一	六	六	七	八	二一
青森	一	一	一	三	二	一	一	四
岩手	一	一	一	三	一	一	一	三
宮城	一	二	一	四	一	一	一	三
福島	一	一	一	三	一	一	一	三
茨城	五	二	一	八	一	一	一	三
栃木	一	一	一	三	一	一	一	三
群馬	一	一	一	三	一	一	一	三
千葉	一	一	一	三	一	一	一	三
東京	六	七	八	二一	六	七	八	二一
神奈川	二	一	一	四	二	一	一	四
新潟	一	一	一	三	一	一	一	三
富山	五	一〇	一五	三〇	五	一〇	一五	三〇
石川	七	六	一〇	二三	七	六	一〇	二三
福井	八	一	一	一〇	八	一	一	一〇
山梨	一	二	一	四	一	二	一	四
長野	一	六	四	一一	一	六	四	一一
岐阜	七	一〇	二二	三九	七	一〇	二二	三九

統計

九一

九〇

統計

兵庫															
伊丹中學校	第二神戶中學校	第一神戶中學校	豐岡中學校	洲本中學校	姫路中學校	鳳鳴中學校	甲陽中學校	大阪貿易語學校	大阪大倉商業學校	天王寺商業學校	關西甲種商業學校	東商業學校	市岡商業學校	明星商業學校	盛器商業學校
一	五	二	一	一	二	一	一	一	三	一	一	一	四	五	六
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二	一
一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一

鳥取	和歌山					奈良					大阪				
鳥取商業學校	和歌山商業學校	田邊中學校	新宮中學校	海草中學校	耐久中學校	粉河中學校	和歌山中學校	奈良商業學校	五條中學校	郡山中學校	畝傍中學校	神戶青英商業學校	神戶商業學校	姫路商業學校	神戸第一神港商業學校
一	一〇	一	一	四	六	五	一五	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一六	二	二	九	四	一一	二三	一	一	一	二	一	二	二	一
一	一二	一	三	七	二	一三	二五	一	二	一	三	一	一	一	三

九五

京都	滋賀					三重									
福知山中學校	宮津中學校	東山中學校	八幡商業學校	大津商業學校	膳所中學校	水口中學校	宇治山田商業學校	四日市商業學校	木本中學校	津中學校	宇治山田中學校	富田中學校	岡崎商業學校	豐橋商業學校	名古屋商業學校
一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	二	一
一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	二	四
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

大阪															
大阪商業學校	富田林中學校	岸和田中學校	八尾中學校	堺中學校	桃山中學校	北野中學校	今宮中學校	高津中學校	天王寺中學校	市岡中學校	京都第二商業學校	京都第一商業學校	京都中學校	京都第二中學校	京都第一中學校
三	一	四	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	二
二	一	二	一	一	一	一	一	一	三	一	三	一	一	一	一
四	一	四	一	五	一	二	一	一	二	二	六	二	一	一	一

統計

九四

統計	種別	年	最	高	最	低	平	均	第一
									年
									學
									二二年五月
一六年十一月									
一八年八月									

第八生徒年齡表

(大正十四年四月現在)

宮崎		大分		熊本		長崎		佐賀		福岡				
宮崎商業學校	中津中學校	熊本中學校	九州學院	島原中學校	佐賀中學校	久留米商業學校	小倉商業學校	門司商業學校	福岡中學校	東筑中學校				
—		—	—	—			二		—					
	—				—	—	—	—						
							—			—				
青島		關東州		朝鮮				鹿兒島						
日本中學校	大連商業學校	大連中學校	大連第一中學校	新義州商業學校	京城中學校	釜山商業學校	釜山中學校	鹿兒島商業學校	川邊中學校	第二鹿兒島中學校				
	—		—											
	三			—		—	—			—				
					—			—		—				

廣島				岡山						島根					
尾道商業學校	廣島商業學校	財團法人 盈進商業學校	三次中學校	福山中學校	山陽中學校	廣島第一中學校	廣島附屬中學校	津山商業學校	岡山商業學校	笠岡商業學校	金光中學校	高梁中學校	矢掛中學校	第一岡山中學校	島根商業學校
二	—			—	—	—		—	—		—	—	—	—	—
	二	—	—	—	—				—				—		—
—	—			—		—				二			—		
高知		愛媛			香川			德島			山口				
高知商業學校	宇和島商業學校	宇和島中學校	西條中學校	今治中學校	飯出商業學校	高松商業學校	三豐中學校	丸龜中學校	高松中學校	德島商業學校	脇町中學校	富岡中學校	撫養中學校	下關商業學校	岩國中學校
—	—		—					—					—		
三		—		—	—	—	—		—		—	—	—	—	
						—				二					—

年 度	種別		和漢書		洋書	
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
大正十二年度末	二、三九四	一一七	二、五一二	二、一一九	一一	二、一四〇
大正十三年度末	二、七二八	四一	二、七六九	二、〇〇九	一〇	二、〇一九
合計	五、一二三	一五八	五、二八〇	四、一三八	二一	四、一五九

統計

一〇一

第十一 圖書館藏書冊數

(大正十四年三月三十一日現在)

計	其 他	無 職	會 社 員	教 員	官 吏	商 業	工 業
一四三	一一	二二	一八	五	三	四五	五
一六六	九	二八	一二	八	八	四七	九
一五二	一五	一七	二六	九	五	四六	一七

農 業	種 別	學 年	第三學年	第二學年	第一學年	備 考
			三四	四五	一七	

第十 生徒家庭職業表

(大正十四年四月現在)

檢 査 人 員	監 察 ヲ 要 ス ル 者	常 異 病 疾 ノ 他 ノ 其 齒 牙 齶 齒 ア ル 者	心 臟 辨 膜 不 完 症	脊 髓 カ ル エ ス	神 經 質	全 カ タ ル	全 鏡	肺 尖 弱	耳 疾	聽 力 障 害 ア ル 者	統 計
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二

備考 本表中検査人員ヨリ數ノ多キハ一人ニシテ二以上ノ事故アルカ爲メナリ

一〇〇

統計

第十二 圖書閱覽表

(大正十三年度自大正十三年四月至大正十四年三月)

1011

開館日數	閱覽人數		一日平均	圖書種類		計別	一日平均
	週覽	帶出		和漢書	洋書		
二四七	七、六八二	八一四	八、四九六	三四、三九	一〇、五五四	一、四四三	一一、九九七
							四八、五七

第十三 建物及建築費

名	稱	構造	種類	坪	數	建築費
教室及事務室	室	木造	二階建		三五七、五二	一〇一、六〇五
支關	室	木造	平家建		一一、五〇	四、〇四〇
講堂	室	全			一一〇、〇〇	四四、五八〇
商業實踐教室	室	全			五五、〇〇	一一、七五三
講義室	室	木造	二階建		一三五、〇〇	四五、五〇〇
實驗室	室	全			一三五、〇〇	五〇、二五三
商品陳列室	室	鐵筋コンクリート	二階建		一〇二、〇〇	三四、八四〇
書庫	庫	全	三階建		一一三、〇〇	一三、四五〇
倉庫	庫	煉瓦造	平家建		三〇〇、〇〇	八、三八一

統計

1011

生徒控所兼雨天体操場	木造	平家建	一〇二、〇〇	一九、七四〇
小使室	全		二四、七五	四、〇六九
柔劍道場	全		九二、〇〇	二〇、七四八
道場便所及廊下	全		九、〇〇	二、〇八七
銃器室物置	全		五五、〇〇	七、四八二
便所	全		三〇、五〇	八、六一四
渡廊下	二階建		六、〇〇	九、〇八二
寄宿舎(三棟)	二階建		二〇九、二五	五九、三四六
舎監室	全		四二、〇〇	一一、一九八
食堂	全		一一〇、〇〇	二二、七一四
病室	全		一九、七五	四、四〇一
洗面所	全		五五、五〇	七、四二九
昇降口	全		九、七五	二、〇八三
寄宿舎附屬物置	全		一八、〇〇	二、四四七
便所(三棟)	全		一八、五〇	五、四四七
柔劍道場附屬家及物置	木造	平家建	二八、〇〇	四、四八〇

商業實踐室	全	二階建	三五、〇〇〇	一四、〇〇〇
藥品室	鐵筋コンクリート	平家建	五、〇〇〇	一、三〇〇
生徒集會場	木造	平家建	六三、五〇〇	一〇、一六〇
特別教室	木造	平家建	七〇、〇〇〇	二二、七五〇
瓦斯發生器室	煉瓦	平家建	五、〇〇〇	一、九〇〇
給水	木造	平家建	六、二五〇	一、四六一
給水電燈瓦斯			一	三三、七八八
周圍境界地均			一	三八、一六一
計	延坪		二、〇〇五、三七七 三、〇七七、五四	六二九、二八九

○關係法規

第一 專門學校令 (抜抄)

- 勅令第六十一號 (明治三十六年三月)
- 第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ヲ專門學校トス
- 專門學校ハ特別ノ規程アル場合ノ外本令ノ規定ニ依ルベシ
- 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校(中略)ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ム(シ)(下略)
- 前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三年以上トス
- 第七條 專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得
- 第八條 官立專門學校ノ修業年限學科科目及其程度並豫科研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第二 實業學校令 (抜抄)

- 勅令第二十九號 (明治三十二年二月)
- 第一條 實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス
- 第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校農業學校商業學校商船學校水産學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス
- 第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
- 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル處ニ依ル

第三 文部省直轄諸學校官制 (抜抄)

勅令第八十六號 (明治二十六年八月)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校	東京女子高等師範學校	奈良女子高等師範學校	盛岡高等農林學校
鹿兒島高等農林學校	上田蠶絲專門學校	東京高等蠶絲學校	京都高等蠶業學校	鳥取高等農林學校
三重高等農林學校	宇都宮高等農林學校	岐阜高等農林學校	宮崎高等農林學校	神戸高等商業學校
長崎高等商業學校	山口高等商業學校	小樽高等商業學校	名古屋高等商業學校	福島高等商業學校
大分高等商業學校	彦根高等商業學校	和歌山高等商業學校	横濱高等商業學校	高松高等商業學校
高岡高等商業學校	第一高等學校	第二高等學校	第三高等學校	第四高等學校
第五高等學校	第六高等學校	第七高等學校造士館	第八高等學校	新潟高等學校
松本高等學校	山口高等學校	松山高等學校	水戸高等學校	山形高等學校
佐賀高等學校	弘前高等學校	松江高等學校	東京高等學校	大阪高等學校
浦和高等學校	静岡高等學校	福岡高等學校	高知高等學校	姫路高等學校
廣島高等學校	富山醫藥專門學校	熊本藥學專門學校	東京高等工業學校	大阪高等工業學校
京都高等工業學校	名古屋高等工業學校	熊本高等工業學校	東京高等工業學校	桐生高等工業學校
横濱高等工業學校	廣島高等工業學校	金澤高等工業學校	米澤高等工業學校	明治專門學校
東京高等工業學校	神戸高等工業學校	濱松高等工業學校	仙臺高等工業學校	長岡高等工業學校
福井高等工業學校	山梨高等工業學校	秋田鐵山專門學校	德島高等工業學校	神戸高等商船學校
東京外國語學校	大阪外國語學校	東京美術學校	東京高等商船學校	東京音樂學校
東京雙陸學校				

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 教授 生徒監
助教授 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ委任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
第八條 教授ハ勅任又ハ委任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ委任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十七條 專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員ヲ設クルコトアルヘシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ス

第四 文官任用令 (抜抄)

勅令第二百六十一號 (大正二年八月)

第一條 文官ノ任用ハ親任式ヲ以テ任スル官及特別ノ規程ヲ設クルモノノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 勅任文官ハ第五條第一項ノ資格ヲ有シ一年以上勅任文官ノ職ニ在リタル者又ハ委任文官トシテ二年以上高等官三等ノ職ニ在リタル者ヨリ之ヲ任用ス

第三條 第五條第一項ノ資格ヲ有セス二年以上勅任文官ノ職ニ在リタル者又ハ委任文官トシテ二年以上高等官三等ノ職ニ在リタル者ハ文官高等試験委員ノ證明ヲ經テ之ヲ勅任文官ニ任用スルコトヲ得

第五條 委任文官ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用ス

- 一 高等試験行政科試験ニ合格シタル者
- 二 高等試験外交試験ニ合格シ二年以上外交官又ハ領事官ノ職ニ在リタル者
- 三 二年以上判事又ハ檢察ノ職ニ在リタル者
- 四 裁判所構成法ニ依リ判事檢察事又ハ司法官候補タル資格ヲ有シ二年以上理事者ハ主事朝鮮總督府ノ判事若ハ臺灣總督府法院若ハ關東廳法院ノ判官若ハ檢察ノ職ニ在リタル者
- 五 二年以上委任教官ノ職ニ在リタル者ハ之ヲ文部省内ノ委任文官ニ任用スルコトヲ得
- 六 中學校又ハ文部大臣ニ於テ之ト同等以上ト認定シタル學校ヲ卒業シタル者

- 二 高等試験令第七條ノ規定ニ依リ高等試験備試驗ヲ受クルコトヲ得ル者
 - 三 専門學校令ニ依リ法律學政治學行政學又ハ經濟學ヲ教授スル學校ニ於テ三年ノ課程ヲ履修シ其學校ヲ卒業シタル者
 - 四 普通試験ニ合格シタル者
 - 五 高等試験ニ合格シタル者
 - 六 二年以上文官ノ職ニ在リタル者
 - 七 四年以上履員タル者
- 第七條 教官技術官其他特別ノ學術技能ヲ要スル文官ハ高等官ニ在リテハ高等試験委員判任官ニ在リテハ普通試験委員ノ詮衡ヲ經テ之ヲ任用ス

第五 官吏服務紀律 明治二十年七月三十日 勅令第三十九號

- 第一條 凡ソ官吏ハ天皇陛下及天皇陛下ノ政府ニ對シ忠順勤勉ヲ主トシ法律命令ニ從ヒ各其職務ヲ盡スヘシ
 - 第二條 官吏ハ其職務ニ付本屬長官ノ命令ヲ遵守スヘシ但其命令ニ對シ意見ヲ述ルコトヲ得
 - 第三條 官吏ハ職務ノ内外ナ間ハ廉恥ヲ重シ貪汚ノ所爲アルヘカラス官吏ハ職務ノ内外ナ間ハ威權ヲ濫用セス謹慎懇切ナルコトヲ務メシ
 - 第四條 官吏ハ己ノ職務ニ關スルト又ハ他ノ官吏ヨリ聞知シタルトナ間ハ其官ノ機密ヲ洩スルコトヲ禁ス其職ヲ退ク後ニ於テモ亦同様トス裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ秘密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ本屬長官ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得
 - 第五條 官吏ハ私ニ職務上未發ノ文章ヲ關係人ニ漏示スルコトヲ禁ス
 - 第六條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得テシテ擅ニ職務ヲ離レ及職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ハ
 - 第七條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ス
 - 第八條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其職務ニ關シ慰勞又ハ謝儀又ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ト間接トナ間ハス總テ他人ノ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
- 官吏ハ外國ノ君主又ハ政府ヨリ授與セントスル所ノ勳章榮賜賜給並贈遺ヲ受クルニハ天皇陛下ノ裁可ヲ要ス

第九條 左ニ掲ケタル者ト直接ト關係ノ職務ニ居ルノ官吏ハ其獎勵ヲ受クルコトヲ得ス

- 一 官廳ノ工事ヲ受買フ者
 - 一 官廳ノ爲替方又ハ出納ヲ引受クル者
 - 一 官廳ノ補助金ヲ受クル起業者
 - 一 官廳ノ用品ヲ調達スル者
 - 一 官廳ト請般ノ契約ヲ結フ者
- 第十條 凡ソ上官タル者ハ職務ノ内外ナ間ハ其所屬官吏ヨリ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
- 第十一條 官吏竝ニ其家族ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ直接ト間接トナ間ハ商業ヲ營ムコトヲ得ス
- 第十二條 官吏ハ取引相場會社ノ社員タルコトヲ得ス及間接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス
- 第十三條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス
- 第十四條 消費シテ產ヲ破リ其分ニ應セサル負債ヲ爲ス者ハ過失ノ一タルヘシ
- 第十五條 官吏ハ私立郵船會社又ハ私立鐵道會社ヨリ無賃乘船無賃乘車切符ヲ受クルコトヲ得ス
- 第十六條 凡ソ局長所長其他一部ノ長ハ各所屬官吏ヲ監督シ其過失若シ懲戒處分ヲ行フノ區域ノ内ニ在ラサル者ハ之ヲ報告スルコトヲ務ムヘシ若シ懲戒處分ヲ要スト認ムルトキハ事狀ヲ具ヘテ之ヲ本屬長官ニ稟告スヘシ其情ヲ知り隱蔽シテ稟告セサル者亦過失タルコトヲ免レス
- 第十七條 本紀律ハ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ス

第六 官廳執務時間 (大正十三年六月 勅令第六號改正) (抜抄)

- 官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ左ノ通トス
- 四月四日ヨリ七月二十日迄
- 午前八時ヨリ午后四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス
- 七月二十一日ヨリ八月三十一日迄
- 午前八時ヨリ午十二時迄

九月一日ヨリ十月三十一日迄

午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

十一月一日ヨリ三月三十一日迄

午前九時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

事務ノ狀況ニ依リ必要アルトキハ執務時間外ト雖執務スヘキモノトス

本屬長官ハ所屬職員ニ對シ七月二十一日ヨリ八月三十一日迄ノ間ニ於テ事務ノ繁閑ヲ計リ二十日以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得但シ事務ノ都合ニ依リ當該期間内ニ於テ休暇ヲ與フルコトヲ得サル場合ニ於テハ他ノ期間ニ於テ之ヲ與フルコトヲ妨ケス

第七 文部省直轄諸學校職員令 (抜抄)

勅令第九十九號 (明治三十五年三月)

文部省直轄諸學校專任職員左ノ如シ (大正十四年六月三日改正)

和歌山高等商業學校

校長 一人 教授 二十人
助教授 七人 書記 六人

第八 高等官官等俸給令 (抜抄)

勅令第三百四號 (明治四十三年三月)

第一條 親任式ヲ以テ叙任スル官ヲ除クノ外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ叙任スル官及一等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任官トス

第二條 奏任官ノ任免及叙任等ハ内閣總理大臣之ヲ奏薦シ其各省及各府所屬ノ官廳ニ屬スル者ハ内閣總理大臣ヲ經由シテ主任大臣之ヲ奏薦ス

第三條 高等官ノ官等ハ別ニ定ムルモノ、外別表第一ニ依ル
第四條 初メテ高等官ニ任セラル者ノ高等官ハ六等以下トス

高等文官ニシテ退官シタル者再高等文官ニ任セラル、場合ニ於テハ其官等ハ前官ノ官等以下トス但前官官等在職年數二年ヲ超エタル者前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス陸シテ六等官ニ至ルコトヲ得

第五條 高等文官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノ及七等以下ノモノヲ除キ在職二年ヲ越ユルニアラサレハ陸叙スルコトヲ得

第八條 勅任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

文部省直轄諸學校長 一級五千二百圓 二級四千八百圓 三級四千五百圓

第九條 勅任文官親任式ヲ以テ叙任ニシテ五年以上其官ノ最高俸ヲ受ケテ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官一等ニ陸叙スルコトヲ得

第九條ノ二 高等官二等ヲ最高等官トス勅任文官ニシテ三年以上高等官二等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官一等ニ陸叙スルコトヲ得

第十條 文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アル者ハ三十八人ヲ限リ高等官二等ニ陸叙スルコトヲ得但各校二人ヲ超ユルコトヲ得

第二十三條 高等文官死亡シタルトキハ在職最終年俸三分ノ一ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及兄弟姉妹ニシテ同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

第一項ノ死亡賜金ヲ受ケヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ掲ケタル順序ニ依リ同順位内ニ在テハ家督相續人ハ其他ノ者ニ男ハ女ニ長ハ幼ニ先ツ

第二十四條 年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス

第二十五條 俸給ハ新任増減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス

休職又ハ待命セラレ年俸全額ヲ給セサル場合ハ減俸ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第二十七條 廢官退官退職及死亡ノトキハ年俸ヲ月割計算トシ當月分ノ全額ヲ給ス

第二十八條 休職廢官退官ノ者事務引續殘務調理ノ爲テ命ヲ受ケ事務ニ從事スル場合ニ於テハ其間仍從前ノ年俸ヲ給ス

第二十九條 疾病ノ爲執務セサルコト九十日ヲ超ユル者又ハ私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ超ユル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス但公務ノ爲傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ若ハ服忌ヲ受ケル者又ハ特旨ニ依リ賜暇休養スル者ハ此限ニアラス

第三十條 俸給支給ニ關スル細則ハ大藏大臣之ヲ定ム

(表略)

第九 判任官俸給令 (抜抄)

關係法規

勅令第三百三十五號 (明治四十三年三月)

- 第一條 判任官ノ月俸ハ別ニ定ムルモノノ外別表ニ依ル
- 第三條 判任文官ハ每級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得ス但六級俸以下ノ者ハ此限ニアラス
- 第四條 判任文官ニシテ一級俸ヲ受ケ五年ヲ超エ事務熟練優等ナル者ハ特ニ貳百圓マテテ給スルコトヲ得
- 第五條 判任文官ノ俸給ハ月俸七拾五圓未滿ノ者ニ限リ給俸ニ拘ラス適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ給スルコトヲ得但各所定ノ最低俸給額ヲ下ルコトヲ得ス
- 第十三條 判任官死亡シタルトキハ在職最終月俸四月分ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其ノ遺族ニ給ス
前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及兄弟姉妹ニシテ同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ
- 第十四條 月俸ハ毎月下旬之ヲ支給ス
前項ノ外俸給ニ關シテハ高等官官等俸給令ノ例ニ依ル
- 第十五條 俸給支給ニ關スル細則ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十 奏任文官及判任文官優遇ニ關スル件

勅令第二百二十三號 (大正十年五月)

- 第一條 高等官官等俸給令別表第二表第一號第三表及第五表ニ依ル奏任文官ニシテ引續キ五年以上高等官三等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ之ヲ勅任官ノ待遇ト爲スコトヲ得但シ帝國大學教授、官立大學教授、行政裁判所評定官及高等官四等ヲ最高官等トスル奏任文官ニ付テハ此限ニ在ラス
- 第二條 判任官ニシテ引續キ五年以上一級俸ヲ受ケテ在職シ事務熟練優等ナル者ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇ト爲スコトヲ得
前項ノ規程ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受ケル者ノ待遇相當官等ハ六等以下トス
- 第一項ノ規定ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受ケル者ハ之ヲ主事ト稱ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十一 教官及技術官ノ俸給ニ關スル件

勅令第二百六十二號 (大正九年八月)

- 第一條 教官ノ俸給ハ其學科目ノ種類又ハ授業時間ノ多少ニ依リ、技術官ノ俸給ハ各廳事務ノ繁閑ニ依リ其ノ最低額以下ヲ給スルコトヲ得
- 第二條 教官ニシテ他ノ廳ノ教官ヲ兼スル者ノ俸給ハ之ヲ分割シテ各廳ヨリ給スルコトヲ得
- 第三條 教官ノ職務ヲ擔任スル講師又ハ囑託ニハ教官俸給豫算又特ニ定メタル豫算ノ中ヨリ手當ヲ給スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十二 文部省直轄諸學校長職務規程

文部省訓令 (大正二年六月二十三日)

- 第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得
- 第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ得テ高等官ヲシテ其事務ヲ代理セシムルコトヲ得
- 第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ
- 第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
- 第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設ケルコト
- 第三 俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
- 第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト
- 第五 教官以下ノ除服出仕及請假ニ關スルコト
- 第六 講師解雇及其報酬減額ニ關スルコト
- 第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト
- 第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト
- 第四條 前條ニ掲ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ施行スヘシ

關係法規

第十三 帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校雇外國人ニ關スル件

勅令第九十六號 (明治二十六年九月)
帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長官立大學長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ得テ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

第十四 文部省直轄諸學校名譽教授ニ關スル件 (抜抄)

勅令第二百二十四號 (大正三年六月)
文部省直轄諸學校ノ教育ニ付功勞顯著ナル者ニハ文部大臣ノ奏薦ニ依リ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトヲ得

第十五 文部省直轄諸學校名譽教授ノ待遇 (抜抄)

勅令第五百二十二號 (大正四年八月)
帝國大學名譽教授及文部省直轄諸學校名譽教授ハ勅任官ヲ以テ待遇ス

第十六 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定 (抜抄)

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ指定ノ專門學校入學無試験檢定受檢者

(一) 一般專門學校

- 學習院中等科元中等學科及元尋常中學校卒業者 (大正九年五月文告) (第三〇五號改正)
- 臺灣總督府國語學校中學校卒業者 明治三十三年四月二日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 師範學校元尋常師範學校及元師範學校高等師範學校卒業者
- 東京府私立明治學院中學校卒業者 明治三十三年七月十七日 (大正四年二月文告) (第一六號改正)
- 東京府私立青山學院中學校卒業者 明治三十四年五月三日 (大正四年三月文告第四〇) (號ヲ以テ中等科ヲ改稱ル)

- 東京府元私立眞宗東京中學校卒業者 明治三十三年二月二十七日 (明治三十七年十月文告) (告第一八二號廢校)
- 東京府元私立第一佛教中學校卒業者 明治三十五年二月十九日 (明治三十九年三月文告) (告第六一號改稱)
- 三重縣私立眞宗勸學院中學校卒業者 明治三十五年九月二十日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 東京府私立新義眞言豐山派高等尋常中學校高等科卒業者 明治三十四年十二月十八日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 京都府私立同志社中學校卒業者 明治三十三年四月二日 (大正五年二月文告第二一) (號ヲ以テ普通學校ヲ改稱)
- 京都府私立眞宗京都中學校卒業者 明治三十三年一月二十九日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 東京府私立天臺宗東部中學校卒業者 明治三十六年十二月十八日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 佐賀縣私立第五佛教中學校卒業者 明治三十七年四月二十九日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 京都府私立眞言宗京都中學校卒業者 明治三十八年一月七日 (大正六年三月告示第三〇號ヲ以テ) (私立眞言宗聯合京都中學校ヲ改稱)
- 宮城縣私立曹洞宗第二中學校卒業者 明治三十八年三月十四日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 山口縣私立曹洞宗第四中學校卒業者 明治三十八年一月七日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 愛知縣私立曹洞宗第三中學校卒業者 明治三十八年六月 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 陸軍中央幼年學校本科卒業者
- 滋賀縣私立第三佛教中學校卒業者 明治三十八年一月十六日 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 東京府私立慶應義塾普通部卒業者 明治三十九年三月 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 東京府私立淨土宗第一教區宗學教授卒業者 明治三十九年三月以後ノ卒業者ニシ
- 大阪府私立淨土宗第七教區聯合教授卒業者 明治三十九年三月以後ノ卒業者ニシ
- 京都府私立第五教區宗學教授第一部卒業者 明治三十九年三月 (以後ノ卒業者ニ限ル)
- 東京府私立東京學院中學校卒業者 明治三十九年三月 (大正四年三月告示第三六) (號ヲ以テ中等科ヲ改稱)

和歌山縣私立耐久學舎第一部卒業者 明治三十九年三月 以後ノ卒業者ニ限ル
 東京府日蓮宗大學中學部卒業者 明治三十八年三月 以後ノ卒業者ニ限ル (大正九年九月告示第四一)
 廣島縣私立第四佛敎中學卒業者 明治四十年三月 以後ノ卒業者ニ限ル (三號ヲ以テ中學科ヲ改稱)
 新潟縣私立有恒學舎本科卒業者 明治四十年三月 以後ノ卒業者ニ限ル
 愛知縣私立第四敎區宗學校卒業者 明治三十五年三月 以後ノ卒業者ニ限ル
 長崎縣私立中學東山學院卒業者 明治四十一年三月 以後ノ卒業者ニ限ル (大正四年十月告示第一四一號)
 臺灣總府中學校第二部卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル
 長崎縣私立鎮西學院中學部卒業者 明治四十一年三月 以後ノ卒業者ニ限ル
 京都府私立花園學院中學部卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル
 千葉縣立園藝專門學校豫科卒業者 但シ明治四十三年三月ヨリ明治四十六年三月迄ニ元私立松戸中學校卒業生徒ニシテ引續キ千葉縣立園藝專門學校豫科ニ在學卒業シタル者
 和歌山縣私立古義真言宗聯合高野中學林卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル
 宮城縣私立東北學院普通科卒業者 明治三十五年一月十六日 以後ノ卒業者ニ限ル
 東京府私立曹洞宗第一中學林卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル
 滋賀縣私立天臺宗比叡山中學卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル (大正五年二月告示 示第一五號改正)
 熊本縣私立九州學院卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル
 福岡縣私立中學西南學院卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル
 京都府聖峯中學卒業者 但大正十年三月 以後ノ卒業者ニ限ル
 朝鮮高等普通學校補習科卒業者 以後ノ卒業者ニ限ル
 陸軍士官學校豫科第一學年修了者 但シ大正十二年三月 以後ノ修了者ニ限ル

陸軍士官學校豫科修了者 但シ大正十年乃至大正十二年ノ卒業者ニ限ル
 高等學校高等科第一學年修了者 修業年限三年ノ大學豫科第一學年修了者
 京都府紫野中學卒業者
 神奈川縣中學關東學院卒業者

男子實業學校 但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル
 (一) 某專門學校ニ限レルモノ 畧
 (二) 某實業專門學校ニ限レルモノ
 (三) 甲種商業學校卒業者ノ入學シ得ル專門學校ニ入學シ得ル者
 南洋中學卒業者 但シ大正十四年三月以後ノ卒業者ニ限ル
 小學校本科正教員免許狀所有者 但シ英語ニ付小學校本科正教員試驗檢定ニ合格シタル者
 又ハ英語ニ付小學校專科正教員免許狀ヲ有スル者ニ限ル
 海軍機關學校 海軍經理學校及海軍兵學校第一學年修了者
 但シ大正九年以後ノ入學者ニ限ル
 農商務省管水産講習所本科第一學年修了者 但シ大正十一年以後ノ入學者ニ限ル
 (五) 工業學校卒業者ノ入學シ得ル專門學校ニ入學シ得ル者 畧

第十七 專門學校入學者檢定規程 (抜抄)

文部省令第十四號 (明治三十六年三月)
 第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校(中略)ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス
 第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
 一 年齢男子ハ十七年以上(中略)ナルコト

- 二 身體健全ナルコト
- 三 品行方正ナルコト
- 四 現ニ中學校(中略)ニ在學セサルコト
- 第三條 檢定ヲ分テ試驗檢定及無試驗檢定ノ二種トシ試驗檢定ハ官立公立ノ中學校(中略)ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ
- 第四條 試驗檢定ノ學科目及其程度ハ中學校(中略)ノ各學科目及其卒業ノ程度トス(下略)
- 第五條 官立公立ノ中學校(中略)ハ試驗檢定ニ合格シタル者ニ試驗檢定合格證書ヲ交付スヘシ
- 第八條 左ニ掲クル者ハ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得
 - 一 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校(中略)ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者

第十八 實業學校教員養成規程 (抜抄)

文部省令第七號 (大正四年三月三十一日)

- 第一條 (一、二項略)
- 帝國大學官立大學及文部省直轄學校ノ學生生徒ニシテ卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニ授業料ヲ免除スルコトヲ得
- 第二條 (前略)前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ負フ但必要ノ場合ニハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スル義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ
- 三 授業料ヲ免除セラレタル者ハ其免除セラレタル期間ノ二分ノ一
- 第三條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ
- 前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス
- 第四條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ前條ノ許可ヲ受タル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ
- 第五條 第一條(中略)第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ(中略)授業料ヲ償還セシム但文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

- 一 退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ
- 二 實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
- 三 第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ得スシテ入學又ハ留學シタルトキ
- 第六條 地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其義務期間内轉任、退職又ハ休職ヲ命セントスルトキハ事由ヲ具シ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ但陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタルトキハ其旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ休職期間満了ノ爲退職者トナリタル者アルトキ若ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキ亦同シ
- 第七條 各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣ノ指定
- 第八條 大學及專門學校ノ學生生徒ニシテ卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一箇月二十五圓以内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ
- 前項ノ規定ニ依リ學費ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學費ノ補給ヲ止ムルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學費ヲ償還セシム但文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
- 第九條 前條ノ規定ニ依リ學費ノ補給ヲ受ケタル者ハ其補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ
- 第二條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學費ヲ補給スヘキ學生生徒ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九 教員無試驗檢定ニ關スル指定 (抜抄)

文部省告示第三十號 (明治三十六年二月)
高等商業學校本科 英語 (當該科目成績優等ナル者ニ限ル) 商業 簿記

第二十 公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程 (抜抄)

文部省第二十八號 (明治四十年九月)

關係法規

關係法規

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業學校ノ教員タルコトヲ得
三 文部大臣ノ指定シタル者

第二十一 文部省直轄實業專門學校委託生規程

文部省令第二十三號 (明治四十年七月)

- 第一條 北海道府縣郡市町村其他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學資ヲ補助シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得
- 第二條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該校長ニ委囑スルコトヲ得
- 第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補助スヘキ金額ハ一月十圓以上トス
- 第四條 委託生ヨリハ授業料ヲ徵收セス
- 第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補助ヲ受ケタル期間ニ一年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス
- 第六條 委託生ニシテ在學中中途退學シ又ハ委託生タルコトヲ罷ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其補助ヲ受ケタル金額ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認めタルトキハ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得
 - 一 前條ノ義務ヲ盡ササルトキ
 - 二 懲戒免職ニ處セラレタルトキ
 - 三 免許狀觀奪ノ處分ヲ受ケタルトキ
- 第七條 校長ハ本令施行上必要ナル細則ヲ設ケルコトヲ得

第二十二 教員檢定ニ關スル規程 (抜抄)

文部省令第三十二號 (明治四十一年十一月)
第三條 (前略)無試験檢定ハ臨時之ヲ行フ

第四條 檢定ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ(中略)無試験檢定ニ在リテハ地方廳若クハ當該學校ヲ經由シテ文部大臣ニ願出ツヘシ

- 一 第二號書式ノ履歷書及受験資格ニ關スル卒業證書(下略)
 - 二 (略)
 - 三 第七號書式ノ校醫ノ身體檢査書(下略)
- 地方長官又ハ當該校長ハ本人ノ品行ニ付テ意見ヲ具申スルヲ要ス
- 第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ文部大臣ノ適當ト認めタル學科目ニ關シ無試験檢定ヲ受ケルコトヲ得
- 一 文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者及選科修了者

第二十三 公立私立實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者指定 (抜抄)

文部省告示第九十二號 (大正八年七月)
官立公立實業專門學校本科卒業者

第二十四 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程 (抜抄)

- 文部省令第十五號 (明治三十四年十一月)
- 第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科目ノ一科又ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アル者ニ限リ特ニ許可スルコトアルヘシ
- 第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長又ハ學校長ニ願出ツヘシ
- 第三條 帝國大學總長又ハ學校長ハ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認めタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但學校ノ設備上差支アル場合ハ此限ニアラス
- 第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ
- 第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ハ入學試験料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得
- 第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ得テ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設ケルコトヲ得

關係法規

第二十五 外國人入學取扱方

文部次官通牒 (大正十年五月九日發專六六號)
從來外國人ニシテ大學及其邊科(中略)專門學校又ハ高等學校ニ入學シ得ヘキ規定上ノ資格(中學校(中略)第四學年終了者ハ之ト同等ノ學力アリト檢定セラレタル者等)ナ有セサル者此等ノ學校ニ入學セントスル場合ニ於テハ之ヲ別科選科等所謂特科生トシテ入學セシムル例ナルモ外國人ニ關シテハ多少ノ特例ヲ設クル必要アリト考ヘラル、ナ以テ今後ハ各學校ニ於テ其ノ入學資格ニ相當スル試驗(例ヘハ中學校卒業ヲ入學資格トスル學校ニ於テハ中學校卒業程度ノ試驗ヲ行フカ如キ)ヲ行ヒ其ノ成績優異ナル合格者ハ之ヲ正科生トシテ入學セシメ差支ナキコトニ省議決定シタルニ依リ御承知相成度尙朝鮮人及臺灣人ニ關シテハ當分ノ内本文外國人ト同様ニ取扱フモノトス

第二十六 校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無效

文部省令第十八號 (明治三十八年十月)
文部省直轄學校ノ生徒ニシテ豫メ校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其入學試驗ハ無效トス

第二十七 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續

文部大臣訓令 (明治三十五年十月八日)
生徒ニ修學旅行ヲナサシメントスルトキハ其目的場所日數生徒ノ級數引率ノ職員姓名等ヲ具シテ往復滞在トモ二日以上ニ滞ルトキハ届出シヘク一週間以上ニ滞ルトキハ何出ヘシ

第二十八 徵兵令(抜抄)

法律第一號 (明治二十二年一月)
第十三條 左ニ掲グル者ニシテ陸軍豫備役後備役將校同相當官タルノ希望ヲ有スル滿十七歲以上二十一歲未滿ノモノハ志願ニ依リ一ケ年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得此場合ニ於テハ其現役中ノ食料被服裝具等ノ費用ハ自辨トス但費用ノ一部ヲ官給スルコトアルヘシ
第一 官立學校小學校及選科等(中略)ヲ卒業シタル者
第二 (略)

前項ニ掲グル學校ニ在學スル者ニシテ二十二歲未滿マテニ卒業又ハ修了シ入營スルコトヲ得ルモノ亦前項ニ同シ

前項ニ依リ志願ヲ爲シタル者ハ卒業又ハ修了マテ入營ヲ延期ス

第二項ニ掲グル者滿二十二歲以上ニアラサレハ卒業又ハ修了シ入營スルコトヲ得サルニ至リタルトキハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

第一項又ハ第二項ニ依リ現役ニ服スル者ハ其現役中之チ一年志願兵ト稱ス

(下略)

第二十三條 一年志願兵トシテ服役スヘキ者ニシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ修業年限三年以上ノ專門學校若ハ之ト同等以上ト認ムル學校又

ハ高等學校ニ在學スル者ニ對シテハ本人ノ願ニ依リ其學校ノ修業年限ニ應シ二十七歲マテ入營ヲ延期ス

一年志願兵トシテ服役スヘキ者其服役ヲ爲ササルトキハ之ヲ徵集ス但滿二十一歲以上ノ者ノ徵集ハ抽籤ノ法ニ依ラサルモノトス

第二十五條ノ二 毎年一月一日ヨリ十一月三十日マテニ滿二十歲ト爲ル者ハ其年一月中二十一日ヨリ三十一日マテニ滿二十歲ト爲ル

ハ翌年一月中ニ書面ヲ以テ戸主ニアラサル者ハ戸主ヨリ戸主未成年者又ハ本籍ノ市町村長ニ届出シヘシ但現役ヲ了ヘタル者又ハ現役中ノ

者ニ付テハ此限ニアラス

(前略)第二十三條第二項(中略)ニ該當スル者又ハ第二十三條第一項ニ依リ延期ノ事由止ミタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ本籍ノ市町

村長ニ届出シヘシ

第三十條 第二十五條ノ二第一項ノ届出ヲ爲ササル者ハ科料ニ處ス

第三十條ノ二 第二十五條ノ二第二項ノ届出ヲ爲ササル者(中略)ハ百圓以下ノ罰金又ハ三圓以上ノ科料ニ處ス

附則

本法ハ大正八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十九 一年志願兵ニ關スル學校ノ認定及其入營延期ニ關スル件(抜抄)

勅令第三百五十七號 (大正七年九月)

第二條 徵兵令第二十三條第一項ノ規定ニ依リ一年志願兵ノ入營延期ハ左ノ各號ニ依リ

一 中學校卒業ヲ入學程度トスル修業年限三年以上ノ官立學校(中略)ニ在學スル者滿二十五歲マテ

關係法規

(中略)
前項ノ規定ハ研究科選科等ノ別科ニ在校スル者ニハ之ヲ適用セス

第三十 一年志願兵條例 (抜抄)

勅令第四百七十五號 (大正八年十一月)

- 第一條 一年志願兵ノ屬スル兵科部軍事上ノ必要ニ依リ陸軍大臣之ヲ定ム但シ本人ノ希望ヲ參酌スルコトヲ得
- 第二條 一年志願兵タラムトスル者ニシテ陸軍豫備役後備役將校相當官タルノ希望ヲ有スルモノハ左ノ區分ニ依リ各主計生(中略)ヲ志願スルコトヲ得
 - 一 主計生、法律、經濟又ハ商業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校(中略)ヲ卒業シタル者
 - 主計生(中略)ノ採用人員ハ軍事上ノ必要ニ依リ陸軍大臣之ヲ定ム
- 第三條 一年志願兵タラムトスル者ノ身體檢査ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム
- 第四條 左ニ掲タル事項ノ裁決ハ聯隊區司令官(中略)之ヲ爲ス
 - 一 一年志願兵タラムトスル者ノ願出
 - 二 一年志願兵トシテ服役スヘキ者ノ入營延期

第三十一 一年志願兵條例施行細則 (抜抄)

陸軍省令第四十九號 (大正八年十一月)

- 第六條 一年志願兵タラントスル者ノ願出手續及願書類ノ取扱左ノ如シ
 - 一 本人志願者ハ左記ノ書類ヲ八月五日迄ニ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ
 - イ 願書 様式第一
 - ロ 戸籍謄本 願出ノトキ交付ヲ受ケタルモノ
 - ハ 履歴書 様式第二
 - ニ 徵兵令第十三條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ資格ニ關スル學校長ノ證明書

ホ 身體檢査合格證書 第十四條及明治三十九年勅令第三百十八號ニ依リ身體檢査ヲ受ケタル者ニ限ル

ハ 保證書 様式第三

ト 身上申告書 様式第四

第七條 條例第二條ノ規定ニ依リ主計生(中略)ヲ志願セントスル者ニシテ志願ノ際又ハ第三十二條ノ規定ニ依リ希望兵科部ヲ届出ツルトキ未タ相當ノ學校ヲ卒業セサル爲其ノ資格ナキモノハ入營ノ年ノ十一月二十五日四月一日入營スヘキ者ニ迄ニ卒業スヘキ者ニ限リ當該學校長ノ卒業見込證明書ヲ差出シ之ヲ證明シ置クコトヲ得

第八條 徵兵令第十三條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リ學校長ノ卒業見込證明書又ハ修了見込證明書ヲ差出シタル者其ノ學業ヲ卒業シタルトキ學校長ノ卒業證明書ヲ添ヘ書面ヲ以テ直ニ本籍地ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第二十一條 在學ノ故徵兵令第十三條第三項第二十三條ヲ以テスル入營延期ノ願出ハ左ノ各號ニ依リ毎年之ヲ爲スヘシ

一 差出スヘキ書類左ノ如シ

入營延期願 様式第六

學校長ノ在學證明書 様式第七

學校長ノ入學許可證明書 様式第八 入營延期ヲ願出ツルトキ徵兵令第二十三條第一項ノ學校前號ノ書類ハ之ヲ左ノ期日ニ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ

イ 第六條ノ規定ニ依リ志願スル年ニ在リテハ同條ノ願書ト同時

ロ 第六條ノ規定ニ依リ志願スル年ノ翌年及其ノ後ニ在リテハ毎年八月十五日

ハ イ號及ロ號ニ依リ願書差出期日迄ニ入營延期ノ資格ナク其ノ年九月三十日迄ニ其ノ資格生シタル者又ハ第二十九條ニ該ル者ハ入學ノ日又ハ事故發生ノ日ヨリ七日内

三 入學許可證明書ヲ差出シタル者入學シタルトキハ直ニ在學證明書ヲ差出スヘシ

第二十二條 町村長、郡市長及聯隊區司令官前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ左ノ通取扱フヘシ

一、二、三、號略

四 聯隊區司令官本籍地ノ聯隊區司令官ハ郡市長ヨリ受ケタル書類ヲ審査シ正當ト認ムル者ニ對シテハ入營延期證書第十四樣式ヲ交付スヘシ但シ前條第一號ニ規定スル入學許可證明書ヲ差出シタル者ニ在リテハ同條第三號ノ規定ニ依リ更ニ在學證明書ヲ差出シタル後之ヲ交付スヘシ

- 第二十三條 在學ノ故ヲ以テスル入營延期ハ左ノ各號ノ一ニ該ル者ニ對シテハ之ヲ許可セス
 - 一 入營延期ヲ願出ツル年ノ九月三十日以前ニ徵兵令第二十三條第一項ノ規定ニ依ル學校ニ在學セラル者
 - 二 延期ノ資格アル學校ニ在籍スルモ修學ノ實ナキ者
- 第二十四條 左記第一號ニ該ル者ハ直ニ第二號ニ該ル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ本籍地ノ市町村長ニ届出ヘシ
 - 一 初メテ入營延期ヲ願出テタル者許可前延期ヲ要セサルニ至リタルトキ
 - 二 徵兵令第十三條第三項ノ規定ニ該ル者ニシテ延期ノ事由止ミタルトキ
- 第二十五條 徵兵令第二十三條第一項ノ規定ニ依ル入營延期ノ事由止ミタル者徵兵令第二十五條ノ第二項ニ規定スル届出ヲ爲シタルトキ又ハ前條ニ該ル者其ノ届出ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ直ニ之ヲ本籍地聯隊區司令官ニ差出スヘシ
- 第二十六條 徵兵令第二十三條ノ規定ニ依リ入營延期セラレタル者轉校スル場合ヲ除ク日内ニ新舊學校長ノ入學及退學證明書第十一様式ヲ添ヘ本籍地ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
- 第二十七條 在學ノ故ヲ以テ入營延期セラレタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ルモノハ一時事故止届第九様式ヲ前學校ヲ去リタル日ヨリ二十日以内ニ本籍地ノ聯隊區司令官ニ差出スヘシ
 - 一 一ノ學校ヲ退學シ其ノ年他ノ上級ノ學校ヘ入學ヲ許可セラルヘキ者ニシテ未タ入學ノ許可ヲ受ケサルモノ
 - 二 一ノ學校ヲ退學シ其ノ年入學試験ヲ受ケ他ノ上級ノ學校ヘ入學セムトスル者ニシテ未タ入學ノ許可ヲ決定セサルモノ
- 第二十八條 在學ノ故ヲ以テ入營延期セラレタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ルモノハ在學ノ事由繼續スルモノト看做シテ取扱フ
 - 一 前條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者
 - 二、三、四(略)
 - 五 其ノ他一ノ學校ノ課程ヲ修了シ引續キ直ニ他ノ上級ノ學校ニ入學スル者
- 第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該ル者ニシテ尙入營延期ノ資格アルモノハ再ヒ入營延期ヲ願出シルコトヲ得
 - 一 第二十四條又ハ徵兵令第二十五條ノ第二項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ニシテ未タ入營セス且入營延期ノ事由止ミタル年ノ九月三十日迄ニ再ヒ就學シタルモノ
 - 二 第三十二條ノ規定ニ依リ入營届ヲ出シタル者 第三十四條ノ規定ニ依リニシテ入營期日ニ至ルモ在學ノ事由尙止マサルモノ

前項ノ規定ニ依リ願出ノ手續及願書類ノ取扱ニ付テハ第二十一條及第二十二條ノ規定ヲ準用ス

- 第三十條 大正七年勅令第三百五十七號第二條第一號又ハ第二號ニ規定スル學校ニ在學ノ故ヲ以テ入營ヲ延期セラレタル者ニシテ二十五歳又ハ二十六歳迄ニ卒業スルニ至ラサルモ該年齡ニ達スル年ノ九月三十日以前ニ引續キ延期ノ年限長キ他ノ學校ニ入學シタルトキハ新ニ入學シタル學校ニ於ケル延期ノ年齡ニ從ヒ入營ヲ延期ス
- 第三十一條 左ノ各號ノ一ニ該ル者ハ在學ノ故ノ延期事由止ミタル者ト看做シ之ヲ取扱フヘシ
 - 一 徵兵令第十三條第三項ノ規定ニ依リ入營延期ヲ許可セラレタル者ニシテ其ノ卒業期日後十四日以内ニ學校長ノ卒業證明書ヲ差出ササルモノ
 - 二 第二十一條ノ規定ニ依リ學校長ノ入學許可證明書ヲ差出シ入營延期ノ願出ヲ爲シタル者ニシテ入學期日後十四日以内ニ學校長ノ在學證明書ヲ差出ササルモノ
 - 三 第二十七條ノ規定ニ依リ一時事故止届ヲ差出シタル者ニシテ九月三十日迄ニ爾後ノ手續ヲ爲ササルモノ
 - 四 在學ノ故ヲ以テ入營ヲ延期セラレタル者ニシテ其ノ年所定ノ期日迄ニ更ニ別段ノ手續ヲ爲ササルモノ
 - 五 第二十六條ノ規定ニ依リ轉校ヲ爲シタル者ニシテ舊校ヲ去リタル日ヨリ十四日以内ニ新校ニ在學セルモノ
- 第三十二條 在學ノ故ヲ以テ入營ヲ延期セラレタル者入營ヲ延期セラレタル者入營ヲ爲サムトスルトキノ手續及取扱左ノ如シ
 - 一 本人、入營セトスル者ハ左記ノ書類ヲ入營ノ年 四月一日入營ヲ希望スルノ八月十五日迄ニ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ
- 入營届 第十様式
 - 入營届ヲ差出ストキ交付ヲ受ケタルモノ但第六條ノ願出後戶籍ニ異動ナキ者ハ差出スニ及ハス
 - 戶籍謄本 條ノ願出後戶籍ニ異動ナキ者ハ差出スニ及ハス
 - 學校長ノ卒業證明書 主計生(中略)ヲ志願スル者又ハ鐵道隊電信隊若ハ航空隊ヲ希望スル者ニ限ル
- 第三十三條 第六條ノ規定ニ依リ服役スルコトヲ願出シル年ノ十二月又ハ其ノ翌年四月ニ入營セムトスル者ハ同條ノ願書ニ希望入營期日ヲ記載シ別ニ届出ヲ要セス
- 第三十四條 入營延期ノ事由止ミ徵兵令第二十五條ノ第二項ノ規定ニ依リ其ノ旨ヲ届出シル者ハ其ノ届出書ト共ニ第三十二條第一號ノ書類ヲ差出スヘシ

第三十二 海軍高等武官任用令 (抜抄)

勅令第三百六十五號 (大正七年十月)

第十五條 主計少尉ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ任用ス

三 專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ(中略)商學ニ關スル課程ヲ卒業シタル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

第三十三 東京商科大學學則 (抜抄)

第十條 本學科卒業者ハ本學ニ入學スルコトヲ得

前項ノ入學者ヲ收容シタル後尙ホ餘裕アルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ詮衡ノ上入學ヲ許可ス

一 本學商學專門部又ハ修業年限三年以上ノ官公立高等商業學校ヲ卒業シタル者

第三十四 學生生徒兒童身體検査規程 (抜抄)

文部省令第十六號 (大正九年七月)

第一條 學生生徒兒童身體検査規程ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ身體検査ノ全部若ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條 身體検査ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキ場合若ハ學校醫カ身體検査ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第三條 身體検査ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

一、發育(身長、體重、胸圍、脈評) 二、榮養 三、脊柱 四、視力及屈折狀態 五、色神 六、眼疾 七、聽力 八、耳疾 九、齒牙 十、其他ノ疾病及異常 十一、監察ノ要否前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ検査ヲ行フコトヲ得色神検査ハ在學中一回行ヒタルトキハ其後之ヲ省略スルコトヲ得

第四條 身體検査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一 検査ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫テ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ忽ニ止ムヘシ
二 身長ヲ測定スルニハ足交靴等ヲ脱セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ

三 體量、着衣ノ儘測定シタルトキハ其着衣ノ重量ヲ全量ヨリ除去スヘシ

四 胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼吸ノ終レル時ヲ測定スヘシ

五 發育ノ概評ノ別ニ定ムル標準ニ據リ甲、乙、丙ノ三分ツモノトス

六 榮養ハ甲、乙、丙ニ分チ其佳良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ乙トシ其中間ナルヲ乙トス

七 脊柱ハ正、左彎、右彎、前彎、後彎ヲ區別シ彎ニ就テハ凡テ其凸側ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其程度ハ之ヲ強弱ノ二種ニ區別シ自己ノ意志ニ依リ矯正シ得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス

八 視力ハ萬國式視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ裸眼視力一、〇以上ナルヲ正視眼トス

屈折機ノ異常アルモノハ其種別ヲ記入スヘシ

弱視、失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ

九 色神ハ其異常アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ

十 聽力ハ其障礙ノ有無ヲ検査スヘシ

十一 齒牙ハ齲齒ニ就キ検査スヘシ

十二 其他ノ疾病及異常ハ検査ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ殊ニ結核性疾患、腺症、肋膜炎、心臟疾患及機能障礙、貧血、脚氣、傳染性、皮膚病、腺樣增殖及扁桃腺肥大「ヘルニア」、神經衰弱、精神障礙ニ注意スヘシ

十三 監察ノ要否ハ検査ノ結果身心ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上特ニ繼續的ニ監察ヲ要スト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス

第五條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ其結果ヲ身體検査票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在學中連年之ヲ繼續スヘシ但程度ヲ異ニスル學科部類ナ有スル學校ニ在リテハ其部類毎ニ別票ヲ用ヒルモノトス

第一條第二項ノ臨時身體検査ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體検査表裏面ニ記入スルモノトス

繼續的監察ノ場合亦同シ

他校ヨリ轉入シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其身體検査票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ身體検査票ハ學校長ニ於テ保管スヘシ

第六條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其結果ヲ本人若ハ其保護者ニ示スヘシ休學退學又ハ治療保護矯正等ヲ要スヘキモノアルトキハ本人若ハ其保護者ニ對シテ特ニ注意ヲ與ヘ其他必要ナル處置ヲ取ルヘシ

關係法規

一一九

關係法規

第七條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトシテハ學校長ハ身體検査統計表ヲ調製シテ其年六月限り文部省直轄學校ニ在リテハ文部大臣ニ報告スヘシ

第九條 特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體検査ヲ行ハサルコトヲ得

附則
本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年文部省令第四號ハ之ヲ廢止ス

(身體検査票略)

第三十五 發育概評決定標準

文部省訓令第九號 (大正九年七月)

大正九年文部省令第十六號學生生徒身體検査規程第四條第一項第五號ニ依リ發育概評決定標準ヲ左ノ通定ム

一 七年ヨリ十八年マテノ男子ニ在リテハ被檢者ノ身長、體重、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ三者カ何レモ左記發育標準表ニ照シテ當該年齡ヨリ一年半長ノ者ノ標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ一年年少ノ者ノ標準以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサル者ヲ丙トス

二 十九年以上ノ男子ニ在リテハ身長五尺三寸體重十四貫三百匁身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、七〇以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ身長五尺一寸八分體重十三貫匁身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、五一以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

發育概評標準表

年 齡	身 長	體 重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
十 七 年	五、一八	一一、八五〇	二、四八
十 八 年	五、二五	一二、五三〇	二、五八
十 九 年	五、二九	一四、〇二〇	二、六五

第三十六

文部省令第一號 (大正十二年一月二十二日)

第二條 朝鮮教育令ニ依リ設置セル中學校及高等普通學校ノ生徒並卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學ノ關係ニ就キ中學校令ニ依リ設置シタル中學校ノ生徒並卒業者ト同一ノ取扱ヲ受ク

第四條 朝鮮教育令ニ依リ設置セル實業學校中實業專門學校、工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水産學校ノ生徒並卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學ノ關係ニ就キ實業學校令ニ依リ設置シタル入學資格修業年限及種類ノ相當ナル學校ノ生徒並卒業者ト同一ノ取扱ヲ受ク

第六條 朝鮮教育令ニ依リ設置セル師範學校ノ演習科ノ生徒並卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學ノ關係ニ就キ師範教育令ニ依リ設置シタル師範學校ノ生徒並卒業者ト同一ノ取扱ヲ受ク

臺灣教育令ニ依リ設置セル學校ノ生徒兒童並卒業者ノ他ノ學校へ入學轉學ニ關スル規程 (抜抄)

第三十七

文部省令第十二號 (大正十二年三月二十九日)

第二條 臺灣教育令ニ依リ設置セル中學校ノ生徒並卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學ノ關係ニ就キ中學校令ニ依リ設置シタル中學校ノ生徒並卒業者ト同一ノ取扱ヲ受ク

第五條 臺灣教育令ニ依リ設置セル實業學校中實業專門學校、臺灣公立商業學校、臺灣公立工業學校、臺灣公立農業學校ノ生徒並卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學ノ關係ニ就キ實業學校令ニ依リ設置シタル入學資格修業年限及種類ノ相當ナル學校ノ生徒並卒業者ト同一ノ取扱ヲ受ク

第七條 臺灣教育令ニ依リ設置セル師範學校ノ演習科ノ生徒並卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學ノ關係ニ就キ師範教育令ニ依リ設置シタル師範學校ノ生徒並卒業者ト同一ノ取扱ヲ受ク

第三十八 京都帝國大學通則 (抜抄)

第三條 入學ハ學年ノ始メ一回トス

第四條 高等學校及學習院ノ高等科文科卒業シタル者ハ法文經濟學部ニ(中略)入學スルコトヲ得

關係法規

第五條 左ニ記載スル者ハ第四條入學志望者ヲ收容シ尙缺員アル場合ニ限り記載ノ順位ニ依リ入學セシムルコトアルヘシ

- 一 帝國大學部所定ノ試験ニ合格シタル學士
- 二 一學部ヨリ他學部ニ轉學ヲ望ム者
- 三 他ノ帝國大學生ニシテ轉學ヲ望ム者
- 四 本學ニ於テ臨時執行スル入學試験ノ合格者但此試験ハ場合ニ依リ高等學校ニ委託スルコトアルヘシ
(以下省略)

第三十九 京都帝國大學經濟學部本科入學志願者心得 (抜抄)

- 二 高等學校卒業者以外ノ者ニ對シテハ學力檢定試験ヲ行フ
 - イ 左ノ資格ヲ有スル者ニ對シテハ本學部ニ於テ臨時試験ヲ行フ
官公立高等專門學校高等商業學校(中略)卒業生
 - 三 本學部ニ於テ施行スル試験ハ左ノ科目ニ付キ之ヲ行フ
國語(漢文、歴史(國史、西洋史)論理及心理外國語(英佛獨ノ内一ヶ國語)
外國語(本人ノ希望ニ依リ一ヶ國語ノ外他ノ一ヶ國語ヲ選ミ受験スルコトヲ得此場合ニ於テ受験シタル二ヶ國語ノ内一ヶ國語力不合格ナリシ時ハ之ヲ受験セザリシモノト看做ス(以下略))
 - 四 本學部ニ於テ施行スル試験ハ毎年三月之ヲ行フ
 - 五 本科入學志望者ハ左ノ期日迄ニ入學願書ヲ提出スヘシ
イ (省略)
 - ロ 三月本學部施行試験ヲ受ケントスル者ハ二月十五日迄
 - ハ 九月本學部執行試験ヲ受ケントスル者ハ八月十日迄
 - ニ 高等學校ニ囑託スル試験ヲ受ケントスル者ハ一月二十日迄

第四十 京都帝國大學經濟學部選科入學志願者心得

- 一 選科生ハ本科生ニ缺員アル場合ニ限り入學ヲ許可スルコトアルヘシ
- 二 選科生ハ試験ノ上之ヲ許可ス
選科生ノ試験ヲ受ケル資格ヲ有スル者左ノ如シ
(イロ省略)
- ハ 官公立高等專門學校(本科入學心得書中本學部施行入學學力檢定試験ヲ受ケヘキ資格ヲ有スル學校ニ同シ)卒業生ハ資格ヲ有スル者ニ限り學生生徒收容選定人員ヲ超過セサル場合ハ試験ヲ免除ス
- 三 前項ノ試験ハ國語(漢文及ニ外國語(英佛獨ノ内一ヶ國語)ニ就キ之ヲ行フ
- 四 入學試験ハ三月之ヲ行フ
- 五 入學願書ハ二月十五日迄ニ提出スヘシ

第四十一 京都帝國大學志願者注意事項

- 一 入學願書ニハ健康證明書添付ノコト
- 二 入學受験料金拾圓ヲ入學願書ニ添付スルコト
- 三 入學許可ヲ得タル者ハ入學料金拾圓ヲ納ムルコト

第四十二 東北帝國大學法文學部規程 (抄抜)

- (前略)
- 第五條 左ニ記載スル者ハ其順位ニ依リ本學部ニ入學スルコトヲ得但入學志望者ノ數本學部ノ收容豫定數ヲ超過スルトキハ選抜試験ヲ行フ
- 一 高等學校及學習院ノ高等科文科ヲ卒業シタル者
- 二 高等學校及學習院ノ高等科理科ヲ卒業シタル者
- 第六條 左ニ記載スル者ハ前條ノ入學志望者ヲ收容シ尙缺員アル場合ニ限り本學部ニ入學スルコトヲ得
- 一 高等師範學校、女子高等師範學校、高等商業學校、外國語學校其ノ他之ト略同等程度ノ學校卒業者ニシテ本學部ノ業ニ堪フト認ム

ル者

二 本學部ニ於テ適當ノ學力アリト認メタル者ニシテ本學部ニ於テ臨時施行スル檢定試験ニ合格シタル者
前項各號ノ志望者ノ數本學部ノ收容豫定數ヲ超過スルトキハ選抜試験ヲ行フ

第七條 選抜試験ハ高等學校高等科文科ノ授業科目中ノ三科目以上ニ就キテ之ヲ行フ
外國語ノ試験ヲ行フ場合ニ在リテハ志望者ヲシテ英語佛語中其一ヲ選ハシム

第八條 第五條ニ依ル入學志望者ハ出身學校ヲ經由シ二月十五日限リ願書ヲ差出スヘシ

第五條ニ規定セル資格ヲ有スル者ニシテ二月十六日以後四月四日迄ニ願書ヲ差出シタル者ハ第六條ニ依ル者ト同様ニ取扱フ

第九條 第六條ニ依ル入學志望者ヲ募集スル場合ハ二月十六日以後ノ官報ニ之ヲ公告ス
前項ニ依ル入學志望者ハ四月五日限リ願書ヲ差出スヘシ

(中略)

第十三條 第六條第一項第二號ニ依リ檢定試験ヲ要スル者ハ履歴書ト共ニ受験料金拾圓ヲ添ヘ入學願書ヲ差出スヘシ
受理シタル受験料ハ之ヲ返付セス

第十四條 入學又ハ轉學ノ許可ヲ得タル者ハ入學料金拾圓ヲ納付スヘシ

第十五條 入學又ハ轉學ノ許可ヲ得タル者ハ誓式ヲ行ヒ學生簿ニ署名スヘシ

第四十三 九州帝國大學法文學部規程 (抜抄)

第一條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學部ニ於テ行フ學力檢定試験ヲ受クルコトヲ得ルハ高等師範學校、女子高等師範學校、高等商業學校若ハ外國語學校ヲ卒業シタル者又ハ專門學校卒業者ニシテ本學部ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第二條 九州帝國大學通則第七條第二項及第八條第二項ニ依リ本學部ニ於テ選抜試験ヲ行フ場合ニ於テ其ノ試験科目ハ隨時教授會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

○附 錄

和歌山高等商業學校校友會規則

第一章 總 則

第一條 本會ハ和歌山高等商業學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ和歌山高等商業學校職員生徒全部ヲ以テ組織ス

第三條 本會ノ目的ハ會員ノ親睦ヲ厚クシ心身ノ修養ヲ圖リ以テ理想ノ校風ヲ發揚スルニアリ

第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スルため左ノ諸部ヲ設ク

- 文藝部 辯論部
- 劍道部 柔道部
- 野球部 陸上運動部
- 水上運動部 蹴球部
- 庭球部 山岳部
- 音樂部 弓術部
- 馬術部

第五條 本會各部ニ於テ部則ヲ設クルトキハ會長ノ認可ヲ經ヘシ

第六條 本會會員ハ少クとも一部ノ部員タルコトヲ要ス

第二章 役 員

- 第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 會 長 一名 本校長ヲ推ス
- 一 副 會 長 一名 本校首席教授ヲ推ス
- 一 理 事 三名 本校職員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス

附 錄

一部 長 十三名 各部一名トシ本校職員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス但兼務ヲ妨ケス
 一 委員各部員三名トシ各部員ノ互選ニヨル
 一 庶務會計係員 若干名 本校職員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス
 一 顧問 若干名 會長之ヲ委嘱ス
 一 職員總代 三名 本校職員ノ互選ニ依ル
 一 生徒總代 十三名 各組ヨリ一名宛互選ス
 一 會計検査員 六名 三名ハ職員總代之ニ充テ三名ハ生徒總代ノ互選ニヨル
 第八條 會長、副會長、理事、部長、庶務會計係員ハ職員總代タルコトヲ得ス理事ハ部長タルコトヲ得ス委員ハ二部以上兼ヌルコトヲ得ス又生徒總代タルコトヲ得ス
 第九條 本會役員ノ任務左ノ如シ
 一 會 長 本會ヲ總轄シ之ヲ代表ス
 一 副 會 長 會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ代理ス
 一 理 事 本會ノ事務ヲ處理ス
 一 部 長 各部ノ事務ヲ管理ス
 一 委 員 部長ノ指揮ヲ受ケ其ノ部ノ事務ヲ處理ス
 一 庶務會計係員 理事ノ指揮ヲ承ケ本會ノ庶務及會計ニ從事シ兼テ各部ノ事務ヲ補佐ス
 一 顧 問 部長ノ需ニ應ジ部務ニ參與ス
 一 職員總代 職員ヲ代表シテ總會ニ參列ス
 一 生徒總代 生徒ヲ代表シテ總會ニ參列ス
 一 會計検査員 本會ノ會計ヲ検査ス
 第十條 委員ノ任期ハ毎年三月一日ヨリ翌年二月末日マテノ一ケ年トシ毎年二月中ニ改選スルモノトス
 職員總代及生徒總代ノ任期ハ毎年一月ヨリ十二月迄ノ一ケ年トシ毎年一月中ニ改選スルモノトス但一年級ニ限り毎年六月中ニ選舉ヲ行フ
 第三章 總 會

第十一條 總會ハ左ノ役員ヲ以テ組織シ會長之ヲ司會ス

- 一 會 長
- 一 副 會 長
- 一 理 事
- 一 部 長
- 一 委 員 十三名 各部ヨリ一名ツツ互選ニヨル
- 一 職員總代
- 一 生徒總代

第十二條 總會ハ毎年一回一月ニ之ヲ開ク但會長ニ於テ之ヲ必要ト認ムルトキハ臨時ニ之ヲ開クコトアルヘシ
 第十三條 總會ハ其ノ出席者總會會員ノ半數ニ滿タサルトキハ之ヲ開クコトヲ得ス
 第十四條 總會ニ於テ付スヘキ事項左ノ如シ

- 一 庶務及會計ノ報告
- 二 其ノ他重要ノ事項

第十五條 總會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第十六條 第十一條ニ掲ケタル以外ノ委員及庶務會計係員顧問ハ會議ニ列シ意見ヲ述フルコトヲ得ルモ決議ノ數ニ加ハラサルモノトス

第十七條 決議ハ會長ノ認可ヲ得テ初メテ其ノ効力ヲ生ス

第十八條 會長ノ認可ヲ得タル決議事項ハ適當ノ方法ニヨリ之ヲ報告ス

第四章 會 計

第十九條 生徒ノ會費ハ一ケ年金十圓トシ四月三圓九月四圓一月三圓ヲ授業料ト同時ニ納ムルモノトス

新入生徒ハ入會金トシテ金二圓ヲ四月會費納入ト同時ニ納ムルモノトス

職員ハ會費トシテ毎月月俸二百分ノ一ヲ出金スルモノトス

第二十條 本會ノ會計年度ハ毎年一月二初マリ十二月ニ終ル

第二十一條 本會ノ豫算ハ各部ヨリ提出セル支出概算書ニ基キ毎年理事之ヲ調製シ會長之ヲ定ム

各部ノ支出概算書ハ其ノ部ノ委員之ヲ調製シ毎年十一月部長ヲ經テ理事ニ提出スヘシ

第二十二條 入會金ハ其ノ二分ノ一ヲ基本金トシテ蓄積シ二分ノ一ヲ本會使用ノ營造物償却積立基金トス

第二十三條 各部ニ於テ費用ノ支拂ヲ要スルトキハ其ノ部委員ハ明細書ヲ調製シ部長ノ檢印ヲ得テ理事ニ提出スヘシ

第二十四條 本會毎年度ノ收支決算ハ文書ニヨリ之ヲ報告ス

第二十五條 收入金ハ會長ノ名義ヲ以テ確實ナル銀行ニ預ケ入ルルモノトス

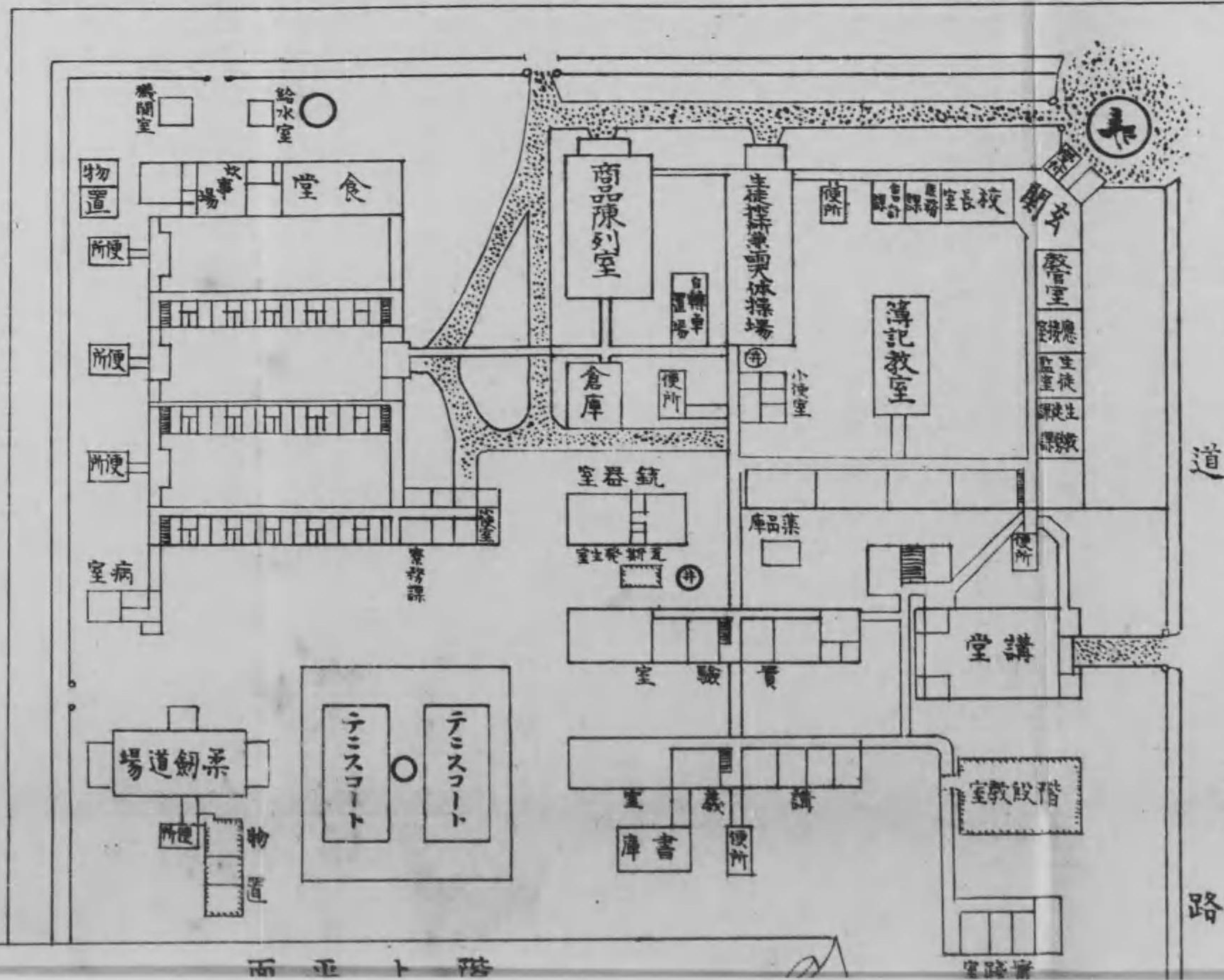
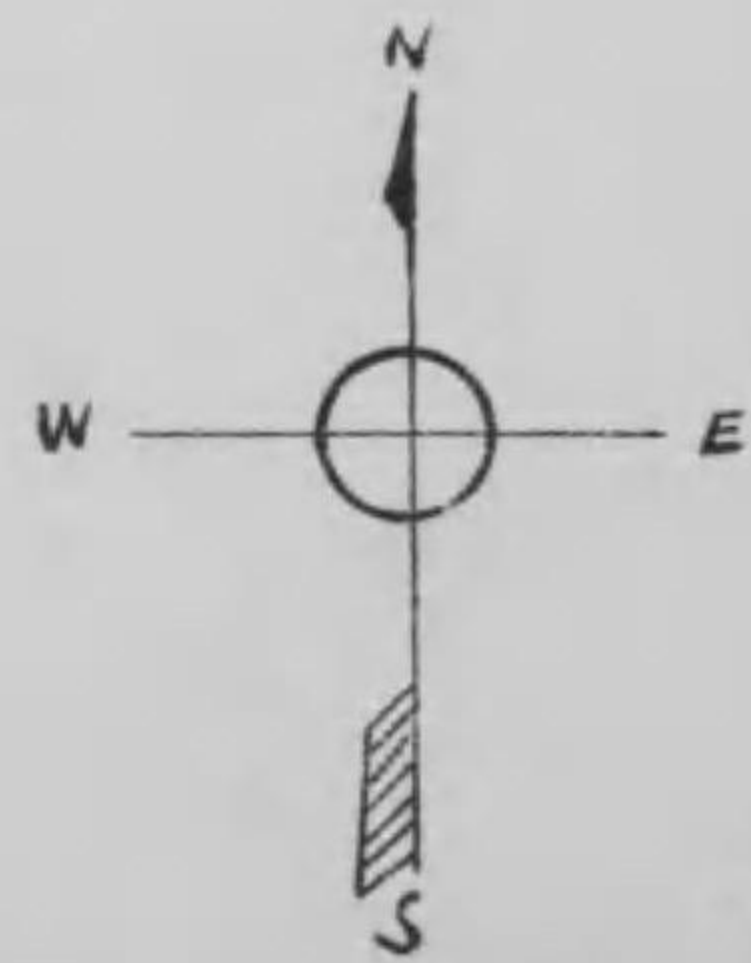
附 則

第二十六條 本規則ハ大正十二年五月五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條 本規則ヲ變更セントスル場合ハ總會ノ決議ヲ經テ會長ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

和歌山高等商業學校平面圖 縮尺二千分之一

敷地總數 壹萬五千餘坪
 敷地總數 壹萬五千餘坪

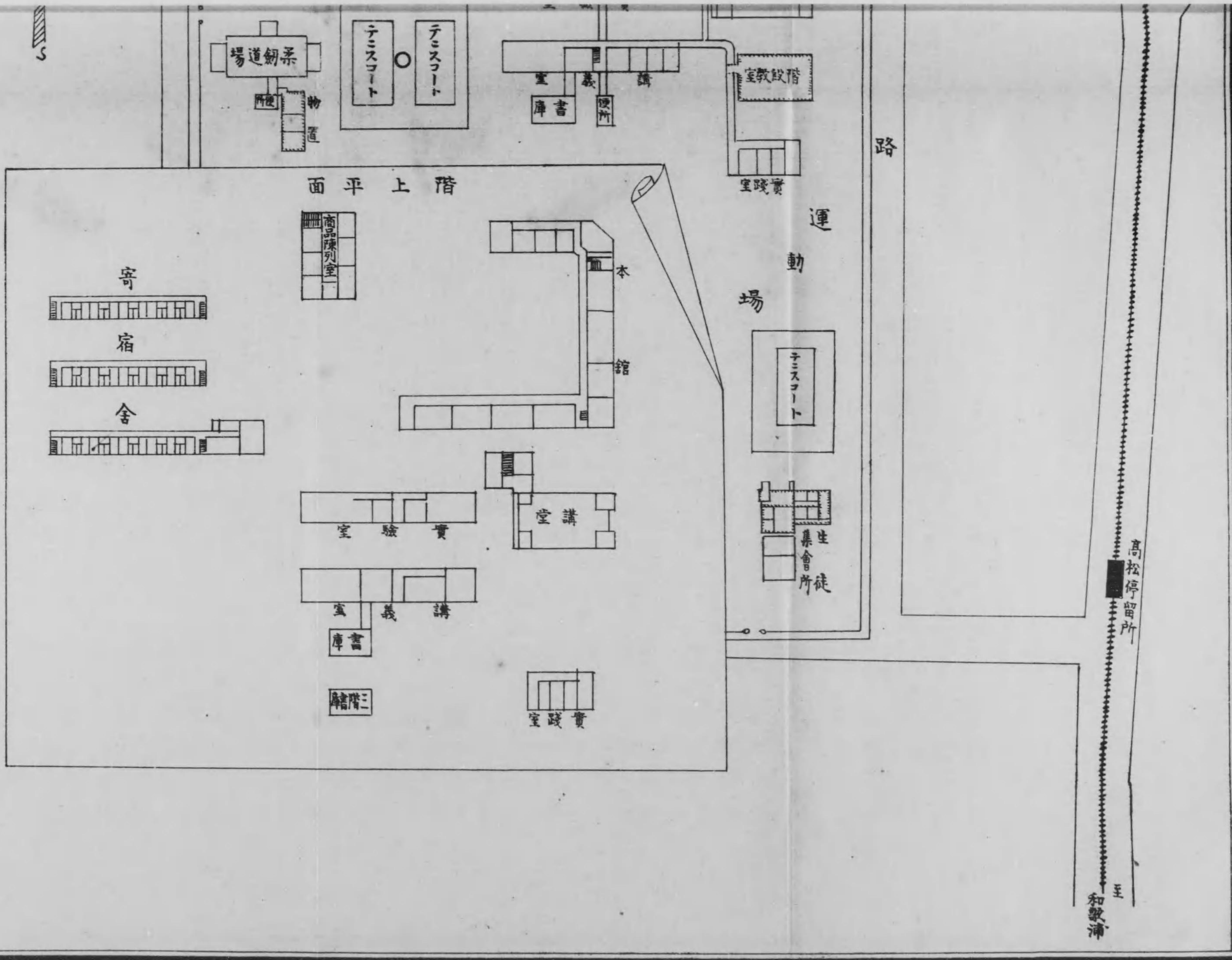


和歌山線

車庫前停留所

西正上階

室路書



和歌山略圖



大正十四年九月廿八日印刷
大正十四年十月三日發行

(非賣品)

和歌山高等商業學校

和歌山縣海草郡雜賀村(電話一七五番 二〇三六番)

和歌山縣和歌山市久保町一丁目廿六番地

印刷人 爲森 入重

和歌山縣和歌山市久保町一丁目廿六番地

印刷所 爲森商店印刷所

電話一二三番



終

